京城日報
四月十日夕刊（朝夕刊を通じて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 編輯用三四五番 營業用二三六番 振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

對日抵抗命令
露政府勞兵會に對し

過激派政府は全西伯利亞に對し戰爭狀態にあるを宣言し同時に西伯利亞勞兵會に對し日本軍に抵抗する爲め赤衛軍分遣隊の編成を命じたり（哈爾賓電報）

我陸戰隊に發砲
通行人の身體檢査を行ふ

上陸せる我陸戰隊が警邏の爲め浦鹽市中を巡回するや是れに向つて發砲せる露人あり我陸戰隊は已むなく通行人の身體檢査を行ふことゝしたるが猶此上反抗の氣勢を示さば更に必要なる手段を執るべしと（浦鹽電報）

人民代表會血迷ふ
日本は露國の敵なりと宣言す

人民代表會は『日本は露西亞共和國を撲滅し西伯利亞を占領せんとしつゝあり日本は露西亞共和國に對する敵なり』と宣言し且つ『日本の辯明を要求せり』と述べ『是れに對する回答は人民代表委員會の外交政策に影響する處ある可し』と聯合國に警告せり（露都電報）

ブ市宛然小獨逸
防禦工事開始＝日本の來襲に備ふ

ブラゴエチエンスクにては最近急に防禦工事開始されしが其の場所及び程度は猶ほ不明なり、右に就き赤衛軍の一員の語る處に依れば之れ日本の來襲に備へんが爲めなりと今やブ市は小獨逸を形造れる實況なり（哈爾賓電報）

獨飛行機露艦監視
ガング港にて英潜航艇破壞

ヘルシングフオルスよりの報道に據ればヴアイキング型弩級巡洋艦一隻及び數隻の掃海船並に軍隊を載せざる三隻の運送船より成る獨逸艦隊はガングに到著せるが獨逸飛行機はヘルシングフオルス港上空を飛翔し露艦の動靜を監視しつゝあり目下同港には戰鬪艦數隻水雷艇一隻潜航艇若干運送船數隻あり尙英國潜航艇四隻ガングにて破壞されたり（莫斯科電報）

英露艦艇拿捕さる

露國艦隊の大部分は易々と獨逸の手に歸し芬蘭の沿岸に在りし英國潜水艇も同樣其の手に入りたり又別報に依れば獨逸の陸戰隊は二千名上陸しヘルシングフオースに向け進軍し既に二個の停車場を占領せりと（哈爾賓電報）

米陸兵十五萬召集

米國政府は陸兵十五萬人に對し召集令を發せり（紐育電報）

奉天軍不日南下

京津京漢兩鐵道線の分岐點に當る主要驛豐臺（直隸省順天府）に集中せる奉天軍は既に其數六千に達し西南討伐の爲め不日京漢線にて漢口に向ふ可しと（北京特電）

兩都統辭職電請

七日熱河都統姜桂題及び察哈爾都統田中玉氏等より電報にて辭職許可を請ひ來れり（北京特電）

政務總監出發

山縣政務總監は十日午前八時半東京出發歸任の途に就きたるが途中郷里山口に立寄る筈なり（東京特電）

洋紙又復騰貴

洋紙界は需要の旺盛と燃料石炭原料パルプ騰貴の爲め氣配高く十五日より又復一割方値上すと（大阪特電）

◆北京新聞記者赴日團

北京新聞記者赴日團一行十八名は既報の如く十日午後八時三十分北京出發十二日夜京城著一泊の上內地に向ふ豫定なるが一行は何れも北京記者團中の有力者にて是等有力記者の赴日は蓋し日支親善上資すところ鮮少に非ざるべし寫眞は前列中央〇印は團長汪立元氏（京津時報社長）汪氏の右に日本側委員長渡邊哲信氏（順天時報社長）×印は副團長康士鐸氏（民視報社長）康氏より向つて左は新民報社長鳥澤聲氏にして康氏と鳥氏の後は北京日報主筆徐凝從氏其他は一行の團員なり

司法官會議

司法省に於て四月十八日より一週間の豫定にて司法官會議開會せらるべく總督府よりは左記の諸氏出席の筈なり

▲高等法院檢事長國分三亥▲京城覆審法院檢事長中村竹藏▲大邱覆審法院長中山勝之助▲平壤同島山虎也太▲京城地方法院檢事正鄕津友彌▲京城地方法院長勅使河原健之助▲釜山同鈴木佐三郎▲平壤同前田信光▲光州同花田鉄太郎▲咸興地方法院檢事正岡本至德

黑鉛暴落眞因
米國の輸入制限と朝鮮の生產過剩

▲需要激增　昨春以來內地よりする黑鉛坩堝の米國輸出は非常に旺盛にしてために內地の各坩堝會社は一方內地の需要激增と共に其の註文に應じ切れざる有樣となり其の決算配當は五割より十割を行ふの好景況を呈せしより其の唯一の原料[illegible]の產地[illegible]及び咸北[illegible]鮮地方に於て[illegible]先貸し等の條件を附して競爭的に買收を爲すに至り之れがため瞬時黑鉛の價格は未曾有の暴騰を告げ平時一噸二百圓の精製品は六百圓に昇騰し尙も註文殺到して當業者は多大の利益を見西鮮地方の

▲黑鉛熱　は素晴らしきものあり盛時に於ては一箇月間に[illegible]る總督府への黑鉛採掘出願數[illegible]以上に達せしと見るも其の[illegible]を知り得べし然るに今春俄然黑鉛需要國たる米國は輸入制限令を發し其の日本品の入荷を杜絶せしめしと一面昨年出願の多數鑛區に採掘許可せられたるもの相踵ぎ生產高は需要の激減に反比例して增加し內地朝鮮共其滯貨を見るに到りしより黑鉛の價格は俄に暴落して昨今は良品にても噸四百圓を割るに至れり此の大暴落により新規の

▲黑鉛業者　は著しく打擊を受け採掘中止者少なくも手控へを爲し居れるが目先き現朝鮮の生產額を消化すべき需要現出すべしと思はれざるに付其の値上りを見る能はざらんと某當業者は語れり

鮮銀券北進
哈爾賓の流通

從來哈爾賓に於ける朝鮮銀行券は同地へ鮮滿方面より旅行する者が若干を攜帶し行き同地在留邦人間の極めて一小部分の間に授受せらるゝに過ぎざりしが昨秋以來不換紙幣たる露貨の信用地に墜ちて其の暴落底なきに至りし上更に露國政府の留紙幣亂發は非常のものなるより近來信用ある鮮銀券の哈爾賓流通は特殊的を脫して漸次普遍的となり益々其の範圍を擴大し來たり哈爾賓市中に局限され內陸方面に及ぼす觀あり唯其の流通額の如き精確の數字は之れを知り難きも露及び支那紙幣の不信用は漸次鮮銀券の同地方に於ける需要を增し來るべしと觀られざるに非ず而して其の哈市に入れる鮮券も約十萬圓を下らざるべしと測されつゝあるが要するに朝鮮銀行勢力の北進は漸次各方面に具化し來るものゝ如し

鮮銀上海支店
十日より開業

朝鮮銀行の上海支店は豫報の如く十日より開店したり又支店長は[illegible]橋本萬治郎氏にして次席は[illegible]上海に出張中なる冷平用滿氏にして共に十日附を以て任命さる

在監囚徒減少

朝鮮在監囚徒の三月末現在數を聞くに受刑者刑事被告人並に勞役場留置者を合せ內地人九百八十二名朝鮮人一萬一千二百八十五人支那人二百廿九人合計一萬二千四百九十六人にして前月末より八十四人の減なりと

全北地價昂騰
全北半野

全北に於ける最近の土地賣買狀態を見るに（一）內地人大農場が昨秋の豐穰と米價による收入增に基づき土地の買ひ進み（二）內地の資本家たる兵庫縣多木並に三重縣諸戶の諸氏が大規模なる土地の買進みを行ふありたために地價は上騰一方にて良田は一反步百圓以下にては到底入手し能はざる狀態にありと

學校組合會議

去月二十九日及び三十日の兩日に亘り開會されたる京城學校組合會議に於て委員附託となりたる諸議案に關しては既記の如く委員側に於て調査研究を了したるを以て來る十二日組合本會議を開き委員會の修正案報告を兼ね大正七年度組合豫算及び附屬事項を附議確定すべしと

山岳展覽會と鐵道

來る五月十日より十日間東京日本橋白木屋吳服店に於て開催の日本山岳會主催山岳展覽會に對し滿鐵京城管理局にては金剛山寫眞引伸額四面を出品し同好者の觀覽に供すべしと

石粉會社出願

精米用石粉及び石灰製造販賣を目的とし小林藤右衞門外八名の發起に係る資本金二十萬圓の大正石粉工業株式會社設立の計畫あり目下總督府に對し許可の申請中なるが同社は本店を京城に工場を黃海道古東面に置く可しと

鮮銀券發行週報

三月三十一日より四月六日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は六千二百七十三萬七千六百廿四圓にして保證準備發行平均高は三千八百十六萬八千三百四十二圓となり前週に對し限外發行若干減少せり

記者團氏名
赴日

既報の如く北京新聞記者赴日團一行は十日夜北京出發十二日夜京城著一泊の上翌十三日東上の途に就くべし因に一行は往路には京城に下車せず歸途視察を爲す豫定なりしも往路の日程に入れありたる八幡若松方面の視察を都合に依り歸途の日程に變更し乃ち十二日京城にて一泊滯在のことに決定したるなりと一行の氏名左の如し

▲汪立元（京津時報社長）▲康士鐸（民視報社長）▲徐凝從（北京日報主筆）[illegible]

對外的商品製產
金谷生

◆神戶は正に商工業と海外貿易の神戶に御座候、されば神戶の實業家は海外に大支店を有ち居る人か若くは大工場の資本主に他ならず候、而して何れも世界を家とする大抱負に相見え候

◆工業にては先づ鐘紡、川崎造船、三菱造船等がその中心たるべく其の他大小無數の工場は何れも對外的の商品を製產いたし居り候

◆就中日本燐寸會社は最新式の機械により東洋の燐寸界を支配すべく努め居り候、而して同社に用ふる軸木の三分の二は浦鹽港輸出の北滿材にこれあり北海道產はその殘り三分の一を占め居り候

◆北滿材は除の白楊材にて目下神戶著一才十七八錢の相場、三井湯淺、鈴木等の取扱に係り候、それに安東よりの吉林材もなかなか多く神戶の實業家なども滿鮮の物資に注目いたし居り候、材木のとりもつ縁かいな……は聊か語弊が惡く候

◆序に日本燐寸では朝鮮及び山東の牛皮により膠を製造いたし居り候、滿洲產のものは目下百斤五十圓を唱へ居り候由此の方面の事業滿鮮には面白かるべく候

松川中將視察

松川軍司令官は咸興七十四聯隊視察の爲め十日午前九時出發十二日夜歸任の豫定なり

岡本參謀長歸任
平壤發

平壤、義州、新義州方面に於ける徵兵檢查狀況視察の爲め出張中の岡本參謀長及び兵器檢查の爲め同行せる龍山兵器支廠長山田中佐は十日午後七時歸任の筈

國分長官東上

國分司法部長官は高等法院檢事長として別項司法官會議出席の爲め來る十四日朝京城出發東上の筈なるが右會議終了後拓殖局及び法制局等と事務打合せの爲め三週間東京滯在の豫定なりと

◎片山理事歡迎會　朝鮮銀行本店在勤の同事以上は九日夜片山新理事を朝鮮ホテルに招待歡迎會を開きたり

◎井上營業課長內地行　朝鮮銀行營業局營業課長井上正愛氏は十一日出發約一箇月の豫定にて內地に旅行する由

◎韓相龍氏歸京　漢城銀行專務取締役韓相龍氏は手形交換所大會へ出席の爲め東上中の所十一日午前九時廿五分著列車にて歸京の筈

木浦

▲捕鯨狀況　全南大黑山島沖に於ける東洋捕鯨會社の捕鯨狀況を聞くに二月中捕獲數十六頭一月より累計廿九頭昨年二月と同數なるも累計に於て二頭を減じ三月中は廿五頭累計五十四頭昨年同月は廿四頭累計五十五頭[illegible]は一頭を減じ居るも天候の都合にては昨年以上の成績を擧ぐべしと加之本年は前年に比し價格騰貴の爲會社の利益は頗る大なるものあるべしと因に四月一日三日に各一頭を捕獲せる旨去る二日報告ありたり▲會議所會頭　評議員會に於て全會一致を以て當選せる商業會議所會頭木村健夫氏は先般來大阪に於て新造せる汽船茂穿丸の處女航を見數日中に歸木の筈なるが氏は當選の電報に接し業務多忙の故を以て一旦辭退せしも歸來の上は四圍の狀況に鑑み就任すべしと▲消防器具購入寄附●　木浦消防組の消防用ポンプ破損に付き新調の已むなきに至りしより木浦繩業、日本棉花支店、大平鑛業支店の三社は各二百五十圓宛山本萬次郎氏は百圓を寄附したるが更に精米工場主等は各々應分の寄附を爲すべし▲地主會●　全南地主會は本月十五日木浦に於て總會開會に內定せし由

群山

▲沃溝叺製產●　全北沃溝郡內製產叺は品質の優良なると製產額の多額を以て近時全鮮に知られ沃溝郡繩叺改良組合に於て其の內製產叺の入札を行ふに當りては遠く京釜京元京義各沿線方面より當業者の來りて入札するあり以て如何に之れが叺の聲價を知るに足るべし而して大正六年度中に於ける沃溝郡繩叺改良組合取扱に係る管內製產叺總數は九十五萬七千二百五十二枚にして此の價額十二萬二千八百六十八圓なりしと▲群山在米●　群山に於ける四日現在米は約十八萬叺に上り居れるが內地仕向輸移出米は地場商不引合の爲め不振の狀態にあり一般强含みにて地場買盛んに行はれ居れり

人事消息

▲外山豐造氏（[illegible]）十日朝入京巴城館へ▲松井房次郎氏（元山理事長）九日附を以て東京、橫濱、神戶及び門司に出張を命ぜらる▲林茂樹氏（總督府事務官）東上中の處九日夜歸任

臥床閑話
蒼洞病客

○歐洲西部戰線の戰況は、川中島の戰に彷彿たり。○越後軍が破竹の如き勢を以て、甲斐の軍を突破せんとせば、甲斐の軍は巧みに退いて堅守す。○謙信車掛りの兵法を以て押し寄せば、信玄は鶴翼に備へて、之を包圍せんとす。○一勝一敗あるも、而も互に相下らざる也。○英佛軍が、長蛇の陣形を布いて、固守せんとせば、獨軍は密集して、楔狀突破を試む。○一進一退は兵家の常也。未だ以て其勝敗は、遽に判斷を下し得ざる也。○然ども獨軍が、此戰に於て、僅々の日數間に失ひたる兵數は、實に三十萬に達すと。失ふ所多くして、得る所少なく無理なる決戰を獨逸は何時迄も繼けんとするか。○況や聯合軍側に於ては、最早對應準備の充分なる今日に於てをや。○而し乍ら獨逸が、此の無理なる決戰を敢行せんとする、其目的は、對內策に存すとせば、首肯する處無きにしもあらざる也。然ども其結果は、遂に獨逸國民をして、愈々戰爭の、無意義なるを悟らしめむ。されば獨逸の恐るべきものは、其勁敵よりも、寧ろ國內に存するものあるを、思はざるを得ざる也。

○無理なる戰爭に就て、思ひ起すは、一昨年の獨逸の、ベルダン要塞攻擊也。獨帝自ら白馬に跨つて、陣頭に立ち、其の陷落の手間取るに、其の非戰主を破裂せしめし也。卽ち其の非戰主の破裂は、皇太子の報告を過信せしに依れり。○誰ぞ知らん獨帝は、攻擊開始後六日にして、ナンシーに入城式擧行を豫定し、且つ確信し居たりとは。聊か輕擧且つ誇を脫る能はざる也。殊に其の確信が、巨額の浪費と、甚大の犧牲を以て酬いられ、其の結果が、一場の夢なりしには、流石の獨帝も、啞然たるを、禁じ得ざりしならむ。

○獨軍今回の、西部戰線大突進に際しても、獨帝亦自ら馬を陣頭に進めつゝありと。之れ其股肱たるヒンデンブルグ將軍が、四月二日を以て、巴里に入城すべしとの揚言に、動かされたる結果に非ざるか。されど四月二日は、既に夢の如く過ぎ、且つ昔日は[illegible]獨軍の猛襲を、見事に擊退したるの日に非ずや。○噫獨帝の[illegible]しは、其の長距離砲彈が、巴里の上空に炸裂せし響のみなりしなるべし。然も巴里は平然たり。○獨逸の兵力の消耗は、國民の疲弊と共に、各方面の行き惱みとなるは當然にして、戰局亦今日を以て行詰まりとすれば、獨帝今後の武者振りこそ、更らに一層の見物あるべし。

取消廣告
九日夕刊三面廣告欄內西洋洗濯職工募集廣告を取消す
大正七年四月十日
京城永樂町二丁目
東京屋洗濯店

白神洋行
ペイント、油類一切
コークス、セメント、モルタル、耐火煉瓦、スコップ、シヤブル
帶革、ロープ、機械、工具、附屬品、其他
鐵材　鋼　浪板、平板、針金、洋釘
新田帶革總代理店
【價表御一報次第無代進呈】
京城

コロタイプ印刷
繪葉書製造、諸記念寫眞帖
龍山漢江通一八（電話五三六番）
門田寫眞製版所

釜山商店案內

洋酒　罐詰　糖粉　卸商
（月刊發行）
釜山
あづまや商店
電話三五八番　振替京城三九番

肥料
釜山驛前
マルカク商店
電話四八三　振替二九二番

酒精　燒酎
西貢米　碎米
砂糖　麥粉
壜詰　罐詰入　大豆　大豆粕　食料品　雜貨
釜山埋立新町
福榮商會
電話長一〇八

雜貨問屋
釜山大廳町
明治屋本店

乾物　糖粉　煙草　雜貨
卸問屋
釜山
山西商店

寺洞支線 [illegible]
十一月一日現行

●白桃美しき佛華は 金七條の袈裟に映えて
＝綠の若松房、紅の修多羅＝ 京都東本願寺大法要始る

東本願寺ではいよ〳〵八日の午後から十日まで七晝夜に亘つて嚴如上人二十五回忌の法要を執行するが今回の法要は追々老境に迫まれた光瑩前法主が父上人追遠の志も一層深いことゆゑ、最も嚴重に執り營みたき希望もあつて法要費の如きも十五萬圓の豫算になつてゐるといふ

▽梵鐘一山に響き 法要第一日 ＝執行さる

八日午後一時梵鐘が一山に鳴り響くや三法主、一門の連枝、定衆堂衆等出仕して、十數名の名古屋樂僧の吹奏裡に逮夜法要が初まる

◆◇樂は 先亂聲、出仕、著座樂、總禮、文類偈念佛讃、廻向總禮、退出樂の次第で六時に終り續いて初夜の改悔批判は講師龍山慈影師が勤める。兩堂及び大寢殿には五色緞子の幔幕を引き繞らし向拜並に高廊下には紫縮緬の

◆◇紋幕 を張り境内には三十二本の幢幡が建ち、五環の紋の大旗十五本は境外に飜へり、卅對の大提灯が配置され、六日に通水式を擧げた山門前の噴泉は盛大なる法要を飾る隨一の莊嚴顔に湛へてゐる

▲お練り繭たき 法要第二日

此の日は初日中のことゝて總てが嚴儀に營まれて、日中法要には午前九時頃から樣儀即ち

◆◇練り があつて、素絹烏帽子た裝うた參列掛み先頭に、麻裃の諸國世話方總代、布衣烏帽子の正准、御頭番、素絹烏帽子の正准、講頭、次で色とり〳〵なる法服七條を纏へる外陣、飛檐、列座、堂衆、餘間、内陣、院家、定衆と續きて連枝となり、光瑩院[illegible]衣に、水色の指貫を穿ち花を手にせる童子を從へ[illegible]

◆◇光暢 新法主、光演法主、光瑩前法主の順序で先驅僧、十弟子、上童、中童子、大童子、六老僧などを前後にして、白、緋、菊塵色の袍裳に綵なす若松房や、紅の修多羅を垂れ、燦然として金襴の七條袈裟を裝束いて參進される、後に續いて上綱の能淨院、慧日院、靈壽院の三連枝は孰れも從僧、布衣士、童子を從へて進まれると、會行事、掌儀、承仕、列行

◆◇この 間絶ず笙、篳篥の行道樂を奏しつゝ、南、[illegible]門から後堂に入られ事を殿りにして大寢殿から高廊下を經て大師堂廣縁を廻る。この日參列の評中は千餘、僧侶は三百餘椅子は九十餘、役掛員百餘を數へ此の[illegible]のやうな列を拜觀せんものと、早朝より道筋から堂内へかけて萬餘の善男善女の黄や、淡黄や、萌黄色などの肩衣をかけたもので滿堂して居る。上段の御廚にはかれて新調の若草色繡、金絲、杉木形の羅の水引に、緋[illegible]鳳凰桐折枝の羅の打敷をかけ

◆◇白桃 の莫に色花を挿し交せた佛華が上げられ、十行の須彌盛華束などが供へられ、嚴如上人の影前には、これまた新調の權色盛滿白絲金絲折枝牡丹金絲若草色小葵の縫の打敷を飾り、華束、佛華など同樣に供へられて、絢爛の眼を射るばかりの莊嚴である（大阪支局）

●西鄕前市長 取調べらる
押川氏に關連か

前京都市長西鄕菊次郎氏は九州瀆職事件に關してか福岡地方裁判所にて取調べらる右は黒田乾の取調べより延いて押川則吉氏との關係暴露乎（京都電報）

●新時代の婦人の標本
＝故後藤男爵夫人の事＝
◇如何すれば内助者たることが能きるかと 夜陰を待つて自轉車の稽古

後藤男爵の奥樣とは今から十二三年前の臺灣時代によくお交際を願つて親しくお話を伺つたことなどがムいました、奥樣は

▽平素から 當代の偉人である男爵の内助者たることが能きるだらうかといふ點について心を用ひておいでになつたやうでしたそして今滿鐵の秘書役をしておいでの上田恭輔さんに英語を、又當時臺灣總督府の殖産局長をしておいでになつた新渡戸博士に西洋

▽日本魂に 西洋文明の著

圖日本の歴史が お好きでよく歴史的のお話を伺ひましたし、御自身では『私は人が好いといふ書物を集める事が何よりの樂しみで皆さんに願つていゝ本を數へて戴いて居ります』と仰しやつておいでになりました、奥樣が西洋の學問をなされたことは確りした

物を著せやうとのお考へからであつたといふことは、洋行からお歸りになつたその日、日本服を著て停車場にお降りになつたのでも判ります、男爵が民政長官時代に劇務のため運動不足勝になられるのを氣遣はれて午前の四時から男爵をお勸めして郊外に散歩に出られ又男爵が自轉車に乘つて散歩されるといふことになれば、御自身でも

圖夜陰を待つて は自轉車の稽古をされ男爵と一緒に自轉車で散策に出られるといふ風でした、その他奥樣に關してはいろ〳〵お話し申上げる材料が澤山ムいますけれども、すべてものに囚はれない内に時代の要求する婦人の標本として差閊へない家婦として立派な人格の方であつたのでムいます（持地夫人談）

●京都瀆職事件 愈々擴大

京都瀆職事件は愈々擴大するもの〻如く九日石川京都市助役村井銀行京都支店長等も檢事局へ召喚されたり（京都電報）

▼選擧無期延期 京都市助役石川濟治氏柴原村井銀行京都支店長は遂に九日夜收監され野村、橋本、原田三議員召喚氏も既に召喚狀を受け居るが又大野市長の爲運動せし大澤輔助も目下旅行中なり斯の如く市會議員多數拘引されたるより十日施行すべき市會議員市參事會員補缺選擧無期延期となる（京都特電）

◇兼二浦大騷擾の跡（上）兼二浦巡査駐在所構内にて鮮支兩交渉員が協議せる光景 傍の擔架の上の二個の箱は爭鬪の即死者を入れたる棺なり（下）は警戒に當りたる消防手の八日午後六時引揚げの光景なり（平壤支局寫眞班撮影）

●兼二浦事件 續報

九日午後三時に至り東兼二浦里共同墓地に於いて支那人二名の屍體を發見せし旨朝鮮人より駐在所に申告あり板野檢事は警察官吏及び醫師を隨へ現場に急行取調を爲り尚昨夜來應援の憲兵巡査等續々來兼し警部三名憲兵下士一巡査憲兵五十名以上と爲り市内靜穩になりたるも避難民今尚歸來せず秩序未だ回復せず（兼二浦）

●支人坑夫の 放逐を要求
鮮人夫就業せず

騷擾一時平穩に歸し三菱は一部事業に著手せるも十日朝來朝鮮人人夫五百名は結束して就業を聞かず支那人坑夫中の馬賊團二百餘名の解職放逐を要求し居れり目下警察は是れが鎭壓に努めつゝあり（十日午前十時五分兼二浦特電）

●けふから幼稚園生＝南山幼稚園の新入園式＝ 南山幼稚園では十日午前十時入園式を擧行した、新入園兒七十餘名大和田園長から保護者に對して帽子や辨當には名札をつけて紛失せないやう途中で道草を食はないやう病氣の時は直ぐに届て出るやう附添人が窓から顔を出して『オヽ可愛い』とか『お嬢さまお行儀よく』など餘計な所を言はせないやうにして貰ひたいそれから幼稚園は早教育を施すのではなく只遊びに來る處であるから小學校に入學れた折へ居て貰つては困るなど、保護者に注意する處あつて約一時間の後式が了り兒童はお菓子や櫻の造り花を頂戴して歸つたが當日は保護者の通り附添人が保護者で大へんな賑ひであつた

●種痘に洩れるな
春季種痘は 今月末から

◇子の可愛い人は注意せよ 京城では本月末から五月末迄例年の通り春季種痘を施行する筈であるが種痘を受くべき幼兒は生後一箇月以上の者、前年が初めての種痘であつたが善感でなかつたもの善感してから五箇年を經過したものなどは洩れてはならぬ、右に就て當局の談に

每年指定の種痘を受けない向きがあるがアレは痘瘡の免にならないばかりでは無く、子供を内地の學校に轉校させる際に種痘濟みの證書がない爲め警察署に其の證明を願ひ出るがソレは後から證明出來ないことで非常に失望するやうな場合に立至るから幼兒のある家では漏れなく種痘を受けさせることであるが警察ばかりでなく其の他一般官設の手では悉く無料で施痘することになつてゐる

●馬山の轢死
持病と生活難を苦にして

岡山市生れ當時馬山壽町大工竹田京平（四三）は昨年十二月頃より飲酒の結果中風症に罹り居たるがかて〻加はる生活難に昨今いつそ死んだ方がなぞと口にし居たるものなるが遂に八日午後十時半頃新馬山驛を距る十町餘の處にて進行中の列車を目懸けて飛び込み轢死を遂げたるを以て九日朝死體發見檢死の上緣者なき爲め家主古藤定次氏死體を引取りたり（馬山）

●前科二犯の女賊

岡山縣芦田郡津山町生れ前科二犯の甲田はる（二〇）は京城本町二丁目山路衣服店に雇はれ中三月十八日同家の二階押入れの中より現金四十圓在中の財布を窃取したることを翌日家人が發見して同女を責め立てたるに蒲團の中より右の金員を取出して返戻したることを本町署にて探知し同人を引致取調べの上檢事局送り

雪

[illegible]

●かくして、各地は… 觀察團 を歡迎す
―下關の煙火

熊本の歡迎 本社主催九州觀察團下關入港と共に關門日日新聞社にては煙火數十發を打揚げて歡迎の意を表し鈴木商店よりはランチ二艘中村組よりは同一艘に

▼滿船飾 を施し樂隊を乘せて彦島附近まで出迎へ觀察團は入港と同時にランチに分乘して大里に上陸する事となれり（下關より）

▼熊本市 にては觀察團歡迎の爲め市役所商業會議所各新聞社等より準備實行委員を選び具體的に歡迎方法を協議したるが歡迎會場は熊本公會堂にて師團縣廳を始め官民重立者數百名出席すべし（熊本より）

●忘機吟社例會 忘機吟社四月例會は嶷に歸京せし松田學鷗氏の歡迎を兼ね來十四日（日曜）午後一時より塔洞公園内南木堂にて開催す當日の課題は『春草』なりと

●神前結婚式 三井物産會社京城支店秘書役本間俊介氏と東拓京城支店支配人笹岡氏令孃豐子との婚約とゝのひ三井物産京城支店長高野省三氏の媒酌により九日午後四時京城神社神前に於て華燭の典を擧げたり

●夜學專修科入學式 龍山善隣商業學校にては夜學專修科第一學年生徒五十名を採用せるが十日午後六時半より右に對する入學始業式を擧行す

灯もと

蒲鉾の商況視察に此程入京した某企業社の人は此の人は絲綢商社[illegible]を興すのが目的の視察と言へば唯の一つも殘さぬ視察振り▲其の視察振りと言ふのが全く拔目の無いやり方で先づ電車に乘れば内鮮人乘客の着衣に目をつけ、朝鮮婦人の裳の裏地から色合迄注意し、其の色は水色が何人、桃色が何人迄遺らず書き止め▲偖て市中の呉服商は勿論手拭から靴下の小物迄並べてある露店迄殘らず寄つて其の品物の目方、色合、質の强弱、使つてある材料の多寡に極めて詳細な視察を遂げ▲悉く調上した結果から滿鮮にはドンな織物が向く物であると言ふことを見拔いて歸つた▲其の齎らした土産に曰く『滿鮮の商人は今少し目先が利くかと思つたら案外に商賣氣に疎い、其の證據には原料も豐富に使ひ目方も重い品物は却つて安く賣り、只色と柄とのよい物だけで値を張つてゐた』

讀者文藝（一等には五十錢書籍券を呈す）

下旬付『さびしさは』▲▲▲▲

○闇に椿の落る音（一等） 元山府町一丁目高島内 植田清

△月無き庭のこぼれ椿 京城 芳郎

△君の細聞く花見酒 龍山 多美郎

△日暮れの山に松の音 龍山 國枝生

△ほつ〳〵と三味 京城 風鈴軒

△手紙書く夜の雨かな 京城 愛々子

讀者文藝 課題及び募集規定

▲締切 每十日 ▲發表 [illegible]

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲題は[illegible]

大阪期米

▲十日後場 當限寄付 二十七圓八十二錢
▲中限寄付 二十六圓六十一錢
▲先限寄付 二十[illegible]

先十九錢一値にて三四節十七八錢を採合ひ結局十七錢と打止めたり
▲後場當限一節二十七圓十七錢
▲中限一節二十二圓十錢八錢九錢
[illegible]

十日の六月限

後場 寄付 二十一圓[illegible]
止メ 二十一圓[illegible]
高値 二十一圓[illegible]
安値 二十一圓[illegible]

●連絡船上陸客 九日午前

釜山入港新羅丸二等客 一等八名 井茂樹、向谷規、向新太郎、林又[illegible]胡逆三、胡坤二、金一琪、高羽秀吉、由木保兵衛、同節子、家起允、中上耕太郎、河野竹之助、加藤喜藏、佐藤房太郎、同定子、阿部儀太郎、金澤新藏、西本健次郎、吉井長七、平田重吉、長谷川健藏、阪井善太郎、三等（二百五名）太郎、節鳴錫、金子茂里、鳥居長次郎、同[illegible]、小西辰次郎、中上國二郎、井上久子、丁旋鎮、韓天錫、韓百熙、小林譲一、三等（八十名）

天氣

曇後晴（十日午後六時より十一日午後六時迄）

四月十一日 ［illegible］

舊二月三十日 日出 午前六時[illegible]分 日入 午後七時四分

滿潮 仁川 午前[illegible] 午後[illegible] 釜山 午前[illegible] 午後[illegible]

商況

兵庫期米

十日前場 當付 二十五圓八十[illegible] 二節 八十四錢 三節 八十錢

東京期米特電

十日後場 一節 二節 二十六圓二十五錢

大阪株式特電

九日 前場 後場
[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十日前場寄付 四月限 二五、一〇 五月限 三五、九四〇 六月限 三六、七九〇 七月限 三六、二九二 八月限 [illegible] 九月限 [illegible]

下關期米特電

十日前場 [illegible] 二節 二七、〇[illegible] 四節 [illegible] 五節 [illegible]

雜報

●綿絲布更低落 大阪三品は米棉三十三仙五に[illegible]

至十二三圓方瓦 八九圓乃

落 現物 二十錢安

一圓丁度に落込 三銘先物十

●支那粟好調 [illegible] 更に十錢方上伸

●砂糖の其後 [illegible]

十七圓が最底 取引 群山 約五六十俵の入品 去八日汽船積込了

南大門の廻穀

[illegible]

京城正米

▲朝鮮一等白米 廿七圓八十 ▲同（當用）廿七圓九十錢 ▲同 二十四圓七十錢 ▲元山大豆前上 二十一圓 ▲同大玉上品 二十一圓

仁川正米

[illegible]

釜山穀物（九日）

▲正米（三十錢安）[illegible]

生魚市場

▲京城日の丸市場 [illegible]

仁川期米

▲十日前場（保合）閑散を感じ [illegible]

氣迷ひ生じ 市場は [illegible]

●大豆不活潑

大豆は内地不況の影響を受け一般商内捗らず市況引續き不活潑にして相場[illegible]

▲徐々下押し歩調 [illegible]

●眼先尙軟味を脫 [illegible]

●白米小締まる

白米の原料榮合みの後を受け内外も聊か氣強まり換味を呈せり市中卸値は二十六圓八十錢と十錢方引締まれり

下關相場

●朝鮮米は手堅し その後内米一十二ヶ叺の輸入ありて別に買氣迫らず[illegible] ●大豆は依然保合 本品は前報[illegible]

市場雜觀

▲十日前場當限 ⊖二十二圓二十五錢 ▲中限 ⊖二十二圓十四錢⊖十五錢 ▲先限 ⊖二十二圓十七錢 [illegible]

合の裡に 散會

動かず一値にて依然保合 先十九錢より

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 主任 西川作治郎 電話 長一五八番 一五九番 [illegible] 七二〇番

先二十二圓十七錢と同事に寄付きて止り

昨止りより三錢高

第一節 各地前寄共著にて當地二十二圓二十五錢中二十二圓[illegible] ▲第二節 大阪前寄二十五圓八十[illegible] ▲第三節 [illegible] ▲第四節 當限米不申中十四錢 ▲第五節 大阪二節七十九錢三節八十錢四節八十三錢五節[illegible]

●亦各府縣へ訓令を發す [illegible]

仁川米豆取引所

十日の六月限

別	場
寄付	二十二円十七錢
止メ	二十二円十九錢
高値	二十二円二十錢
安値	二十二円十六錢
出來高	[illegible]

平均値	
一節	二十二円十九錢
二節	二十二円十九錢
三節	二十二円十九錢
四節	二十二円十九錢
五節	二十二円十九錢

賣買取組高

四月限	一萬三千五百五十石
五月限	一萬五千二百五十石
六月限	一萬千二百五十石

九日後場 [illegible] 前日と比較 [illegible]

北濱だより

▲株式晩合ひ 株式は [illegible]

倉庫仲買店 仁川 [illegible]

叺縄莚 穀物用 叺 莚 石炭用 各種 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

仁川米豆取引所 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 營業案内 電話長九〇一番 自宅六〇二番

●綿糸ご紡績 [illegible]

●差異甚だし 渤海漁業

◆夏季は廉價であるが冬季は高い◆

渤海沿岸近魚漁に就き關東都督府水產試驗所長は語つて曰く『市場に於て販賣される大連の魚類は夏期に於ては甚だ廉價であつて內地各海濱都市は元より京城、釜山及び臺灣各海濱都市の魚類相場に比較しても決して高價なりと云ふべからず各種物價の甚だ高率なるに比し魚類は案外に低廉であるが十一月より翌年三月に至る所謂冬期魚市場に成ると之れ又各地に

◆類例のない高價◆

を告げ鯛の如きは百匁一圓七八十錢を唱ふる事も珍らしくない事である關東州沿海は概して水淺く冬期に在りては魚の棲息に適せず僅かに鰈、比目魚、鯛等が漁獲される許りで其他は大抵內地及び朝鮮各地から輸入されて居る故に其の市場に於て時に驚くべき高價を唱ふるは止むを得ざる次第である近來夏秋期に於ける盛漁期の鯛を貯藏する冷藏會社又は個人經營の冷藏庫の設備がされて在るも未だ其の貯藏力は一般商人の委託を受け冬期の需要を充たす程度の規模に至らないのは甚だ殘念である關東州沿海及び渤海漁業は未だ幼稚の域を脫せざれども

◆夏期は在らゆる◆

魚族の回游するを見るを以て將來甚だ有望なりとし近來都督府にては冬期出の漁業を獎勵しこれも近海附近には鯛の類は回游しないと思はれて居つたが當水產試驗場の調査に依ると圓島附近には夏期になると鰆、子鰹等が回游する事が判つたので今年から此れが漁獲方を勸獎して居る從來關東州及び內地よりの出稼漁夫等は大連灣附近で漁撈に從事し廣く渤海方面に手を延ばさなかつたが近來漸次發達し漁場區域の擴張せらるると共に今後數年ならずして

◆莫大なる水揚高◆

を示す事となるであらう近來支那人との間の漁場爭ひ等も圓滿なる解決を告げ相互親密に從事し居れり漁獲の增加と共に加工の方法も夫れ夫れ整まる事となるべく當試驗場に於ても幾多の加工試驗を爲し居るも近來は錻力値段の騰貴せる爲め鑵詰の製造を爲す事能はず專ら乾鹽の方法を執るの外はない』（大連）

◆大連の魚市場◆

●滿洲里電燈

◆ルーブルの關係で頓挫

露國鐵道松岡某氏は滿洲里に於ける露人經營の某電氣會社を露貨六萬留にて買收し東拓會社に資金運動中なりし處

東拓は投資を承諾

したるも過般來の露國留の急騰によりて買收價格に移動を來たしたるため一時頓挫の姿なりと（奉天）

●解氷後の商勢

國境經濟事情

新義州農工銀行支店調査に係る三月中同地方の金融狀況は穀物類の暴騰は大に其出廻りを促し同時に滿洲粟の輸入を激增せり木材も亦需要季に入り一層注文殺到し解氷後の商況甚だ活潑にして資金需要多く金融著しく緊張の狀を呈せり而して貨物の集散は米は八日輸出制限令施行前安東縣へ原料

◇奧の山河に 春猶寒し

◆風は雪を誘うて玉關の情切也◆

親善是より深からんとす

◆四國の狀態益々我に佳なり◆

◆雪の國

綻び初めし櫻に人の氣もいと浮立つ南方に引かへ未だ春知らぬ長春にては小川の氷さへ解けやらず殊に四日來の烈しき朔風に誘はれてか五日朝より雪となり午後に至るも歇まず氣溫も下りて零下八度を示せり然し此の地にとりて斯くの如きことは別に珍らしからざるも本年は例年に比して非常に暖かく降雪も餘り無かりし事とて此の日の雪は何れも珍らしき心地せり

◆八馬老‖伊墺の兵

從來露國東部戰線に在りて幾多の艱難と不斷の努力を吝まず活動を續けつゝありし伊、墺兩國兵士千名は露國動亂以來其の亂脈に呆れ無念の熱淚を呑みつゝ遂に戰場を見捨て哈爾賓に來着したるが近日中に某方面を通過して故國に還り再び西部戰線の人となるべく目下準備中なりと聞く

◆孟將軍

吉林孟督軍は過般の獨立運動以來著しく親日の度を加へ近時日支事業提携を絕叫するに至り現今邦人に對しては非常なる好意を以て接觸し居れり由來同地方は排外熱熾烈にして單に外人のみならず自國人にても外省人には排斥の思想を抱きつゝありし事とて外人の困難特に甚しかりしが前記孟督軍の親日態度により近來は漸次邦商との障礙も除かれ頗ぶる利便を得つゝあり事實上の日支親善となり來れるは喜ぶべき事と云ふべし

米の思惑輸出旺んに行はれたるも倚後取引稍々鈍狀を呈し相場も小一圓方引弛み滿洲粟其他雜穀類は

中旬を天井とし

大豆の一圓方始め何れも多少の低落をなせしも鐵道輸送緩和の爲め約定物の積出し相應に行はれ取引活潑を呈せり、木材は引續き需要旺盛の折柄銀高と水不足にて流筏難を氣構へ氣配益々良好也し（平壤）

●仁川の貿易

仁川稅關に於ける三月中の貿易額は輸移出百三十一萬三千六百六圓輸移入百七十六萬六千六百七圓にて合計三百八萬百十三圓に達せり而して其の主なる品名及び價額を擧ぐれば輸移出に於ては米百五萬三千九百三十七圓を主として小麥一萬一千二百九十七圓大豆五萬九千九十三圓煙草六萬六千八百六十四圓肥料一萬一千九百二十五圓其他の雜品九萬六千七十三圓計百三十一萬三千六百六圓輸移入の主なるものは生金巾シーチング十七萬七千五十五圓諸機械類十五萬八千五百四十圓石炭十三萬五千二百九十六圓熟鐵十萬九千七百六十五圓食鹽九萬一千四百十圓小包郵便物八萬五千七百八十九圓晒金巾及び晒シーチング五萬八千八百七十八圓爆發物四萬四千六百六十八圓木材及び板四萬四千四百九十三圓支那麻布三萬七千九百一圓絹織物三萬四千六百圓其他の雜品四十九萬八千五百十七圓等にて合計百七十六萬六千五百七圓に達せり（仁川）

●暫は建築の天地

◆奉天各銀行の貸出金利比較◆

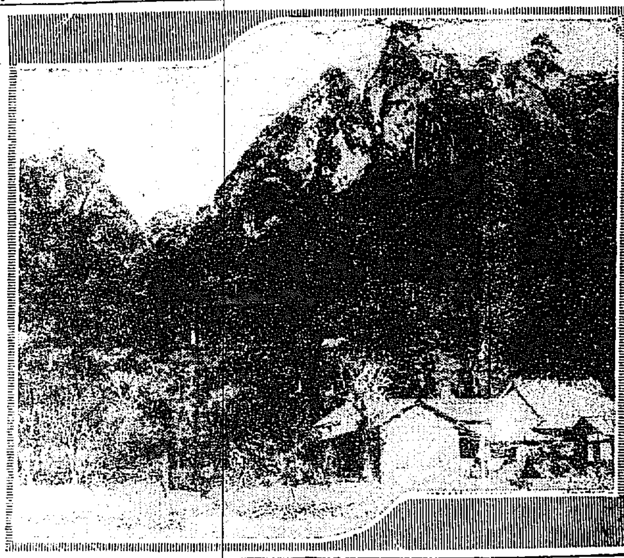
奉天は昨年來諸興業勃興と建築界空前の旺盛を極めたるより奉天の金融界は自然頗る活況を呈したるが本年に入り三月下旬より四月に於ける金融は資金の流動益々活潑となりて各銀行貸出及び回收共に極めて圓滑にして之れが資金需要の方面は建築界多數を占め居れり而して目下各銀行の貸出利率は正隆銀行日步三錢乃至四錢九厘朝鮮銀行二錢七厘乃至三錢五厘、正金銀行二錢四厘等にして又共融組合等は金融の活潑に鑑み數日前より日步二錢方値下し五錢乃至六錢五厘に改めたり（奉天）

●鄭家屯に領事館

鄭家屯は四鄭線開通とともに急激に發達の機運に向ひ同地に於ける諸事業勃興の兆あると共に在留邦人は本年中に優に五六百に達すべき形勢なり而して從來奉天總領事館の分館を置き事務を處理し居りしが已に數百坪の敷地を選定し本年建築に着手することに決定し居れるが同建築竣工と同時に奉天總領事館より分離して獨立の領事館となるべしと（奉天）

◆好景氣‖先づ輸入から

長春目下の經濟情態は約二千萬圓以上の特產物南下品の堆貨あるが故に資金固定し邦商は金融上に困難を感じつゝあるが近時輸入貿易の漸く活氣を帶び來れるより此方面に資金の需要起るべしとて現今多少沈靜の氣味ある金融市場も漸次好調に向ふべき希望あり而して支那商側に於ては目下銀塊相變らず强含みの爲め市場好況を呈し來り露貨引戾しは多く支那商の益する處となり次で窮乏の吉林省經濟界は官帖の下落を防ぐ爲め官帖兌換銀票券を發行しつゝありて之等の關係上經濟順調なるより何れも買氣に傾き居れば近く我が貿易品の多數輸入あるべき見込なれば其上は假令堆貨の此の儘經過するとも邦商側の金融關係も緩和すべしとて樂觀されつゝあり（長春）



九州視察團寫眞帖

（耶馬溪 青村入島岩）

●鳳凰城に行軍す

安東守備隊は九日より二泊の豫定を以て井上守備隊長引率の下に鳳凰城に向け戰鬪射擊行軍を行ふ筈なるが此の行程往復約二十七里、第一日は行程約十一里、第二第三日は共に約八里づゝの豫定なりと（安東）

●古老も不知

害蟲の發生三箇月早し

平安南道に於ては從來夜盜蟲は最も早きは六七八九の四箇月に限られしが最近中和郡に該蟲發生し被害尠なからず今其狀況を聞くに本年は幼蟲にて越年したるものにて昨今の陽氣に伴ひ小麥の畑を襲ひ其苗芽を蝕害し益々擴大の徵候あるより目下頻りに豫防法を講じつゝあるが道廳にては其蔓延を恐れ各郡へも豫防の通牒を發せり尙最も注意すべきは目下の發生地は昨年來畑にて本年小麥畑となりし地に多く古老の言に依れば該蟲が斯くの如く早く發生せしは未だ曾て見ざる現象なりと（平壤）

●檢疫廢止か

肺ペスト豫防のため目下新義州驛に於て列車內の檢疫施行中なるが昨今肺ペストも漸く下火となりたるを以て近日廢止す可しとの說あり

●鷺口瘡猖獗を極む

◆平北江界にて百餘頭に及ぶ◆

平安北道江界郡化京面梨滿洞內に客月下旬發生せし畜牛の流行性鷺口瘡は其後急速の勢ひを以て傳播し罹牛既に百三十頭を算し尙益々猖獗を極めつゝあれば平北道當局に於ても之が豫防策に就て考究中なりといふ（平壤）

●春闌ならんとする 花の月尾島

二萬本の櫻樹

月尾島を一大公園として獨り仁川のみならず廣く京龍人士の遊樂地として遺憾なき設備を施すの目的で先づ櫻樹の植栽を初め其他松、銀杏アカシヤ等の苗木を約十萬以上植栽する事となり先月來數十名の人夫を使用して之に當らしてゐたが僞に其の全部の植栽を了した、今年植樹の櫻は約二萬本で其內

◆八尺乃至一丈位ゐもあつて◆

五百本位ゐは

早や蕾の膨らむだものさへあると云ふから此の春には淺爛の花が新たに笑ふのである其他の櫻は比較的若い苗で今直ぐにと云ふ譯には行かないが、茲三四年も經過すると之も滿々著ける樣になり從來咲きつゝある約五千の櫻樹と共に今年からは

◆全島花に埋る◆

其の植栽節面は島の中腹道路に伴ふて全島を圍繞すると云ふ有樣で之れに松の綠を配する格で稚松の數が一萬五千本到る處に間植を試みられて居る其他銀杏の一萬二千本アカシヤの二萬以上等之等は島の風致を添ゆる點に於て遺憾なきものがあらふ

花の紅松の綠り

◆けふ之れを市街地から望む◆

東面に重きを置いてあるから春の仁川は月尾の風光に依つて更らに一段の色彩を添ゆるものがあらう春水緩やかに島根を繞り丘上の櫻花は白帆と相對する仁川特有の風致は蘇て來る陽春四月の末幾萬の人士を醉はするであらう（仁川）

台所 その日く

◇鮭のサラダ◇

生鮭でも鹽鮭でも或は罐詰の鮭でも用ひられます生鮭ならば茹でゝ用ひ鹽鮭ならば鹽出しして用ひます罐詰ならばそのまゝ骨を離しなして用ひます。キャベツの柔かい葉のものを用ひます。キャベツは生のまゝ細かに刻んで鮭と一緒に皿に盛りマイナイスソースをかけて食べます。この料理に用ふる材料はこの外たくさんありましてハム、玉子なども手輕でよく出來ます又はちさなどは殊に結構です

仁川米豆取引所

大阪前止め小高く後寄小安き入電に中限二十二圓十錢より〆八錢九錢先二十錢より八錢二節當十七錢

◆廣告◆

今ぞ株式萬能の
◎富を成す唯一の方法は◎
時代は來れり
株券 三ヶ年 二ヶ年 月賦販賣
申込單位一株以上（資本金五十萬圓）
第一回拂込 當日の市價
契約原價 壹株に付市價の一割
第二回拂込 契約金殘額月割宛
東株、鐘紡株、紡績株、砂糖株賣出し
詳細は御照會次第通知す
地方代理店希望者は照會
書類規則說明書送れ
東京市日本橋區坂本町
兜町北島地
旭證券信託株式會社
電話浪花 一〇〇四番 三二九四番
振替東京三九七七八番
◎有價證券を所有するにあり◎

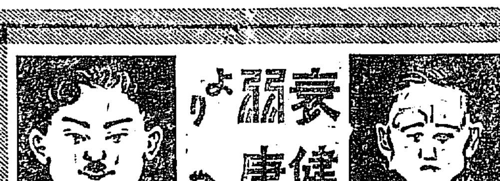
むすめ印
酢の素
販賣元 近藤商店

毒の病
筋骨の病を救ふ
梅毒、淋病、リウマチス、腦病、其他
旭製劑株式會社領藥部
東京淺草千束町二丁目二五五

月やく
東京四谷傳馬町 森田屋

職業 專賣特許內外賞牌
熱日收壹圓
特約店募集
二葉商會本店
大阪北區福島中二丁目

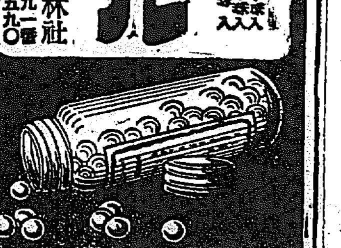
金銀賞牌二十四回受領
なるほど 美味である 滋養がある と 賞讚されつゝある
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい！
必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出されます
毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す
蜂印香竄葡萄酒は純良生葡萄酒を主とし補血强壯料を主成分として精製せる醫藥品なり 到る處の藥店酒店にあり
東京本町 近藤利兵衛



衰弱より健康へ
レグモン
衰弱したる人が健康の幸福に入るべき最も容易なる方法は新滋養劑レグモンを服用するにあり、レグモンは人體營養の第一要素たる蛋白質の多量と血液の濃度を增し細胞の抵抗力を强め心臟を强壯にすべきカルチウムの適量を含有するが故に病中病後の衰弱は勿論、平素營養不十分にして身體虛弱なる人はレグモンに依つて健康の幸福を得らるべし
全國知名藥舖に販賣す 說明書無代郵呈
定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五十錢
一手販賣 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

菱印
窓硝子
三等品 舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ此品ニ限リマス
四等品 通常舶來ト稱ヘ普通ノ用途ニハ至極適當ノ品デアリマス
本社 旭硝子株式會社
工場 第一工場 尼崎 第二工場 戶畑 第三工場 鶴見 第四工場 牧光 煉瓦工場 尼崎 曹達工場 戶畑

淋病新藥
ゴノチール
極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ
●各地有名藥店ニアリ●
●說明書ハ現品ニ添附ス●
三十錠入 六十錠入 百錠入
發賣元 藥品問屋 大阪市道修町 西村藥林社
電本局二四九一番 振替大阪七五九〇



塚原卜傳

第四十一席　悟道軒圓玉口演

一刀を提げてズイと進んだ右の武士、身丈六尺に近く筋骨逞しき人物大音揚げて 武『默れ町人。〇『へエ 武『貴樣達は怪しからん奴だ、コレ拙者が最前から默まつて聞いて居れば物識り顏にツベコベとヤレ新田がどうの足利が何うのと、町人の分際を忘れて僭上千萬にも天朝のお噂さまでいたす不屆な奴、貴樣達は身分に相應した話をしろ、商人ならば相場の上がり下がり、百姓ならば作物の出來不出來、職人共は其業の巧拙、俗に申す牛は牛連れ身分相應の話をいたして

居れば宜い、何だ南朝が正統だの淸和源氏だのと船中に武士が居らぬやうに高慢な事を申す奴だ、今一言申して見ろ、貴樣達の素首は胴に付けて置かぬぞ』少しく銘酊して居る恐ろしい酒の惡い人と見れてグイと眼を向いて睨み付けた町人一同驚いて 〇『何うも旦那樣飛だ事を申しましたツイその國の自慢から新田だの足利だのとお互に爭つて居りますから私が兩方共淸和源氏で同じ八幡太郎の血統だから喧嘩をしてはいけないと仲裁をいたしましたので、お氣に障つたら何うか御勘辨を願ひたう存じます 武『貴樣がさういへばそれで宜いが以來武家の話をしてはならんぞ、身分相當の話をしろ 〇『へエ畏りました 武『拙者なぞは兩刀を帶して四民の上に立つ武士だがそれすら恐れて朝廷のお噂さなぞはした事はない、武士は弓馬槍劍武術を鍛錬し各其主に忠勤を抽で事ある時は君前に命をすてるといふ、之れが武士の本分だ、其外に役目はない、隨つて武藝の話しより外はいたさん 〇『へエ分りました 武『分つたら一杯酒を飲ませろ』人の惡るい武士だと思つたが仕方がない、酒を飲ませる、大きいものでグイ／＼呷つてい丶機嫌になつて、フウと息を吹いて、武『エーイフウ、宜い心持になつた、何うも貴樣達の前だが、世の中に酒ほど結構なものはない、一に酒、二に女、三に金と申すが酒が一だ、拙者は酒さへあれば女も金も要らぬアー好い酒だ、牛の聲色を遣つてモー一杯……』恐れ……武士で一同苦い顏をして居る 〇『エ、旦那樣は大層御酒が强くつて在つしやいますな 武『まづ酒を飲ましたら天下廣しといへども拙者の右に出づる者はあるまい 〇『成程さうでございませう 武『亦打物執つても天下無双といふのは拙者の事だ、日本六十餘州津々浦々の果まで拙者の名を聞けば泣兒も默を止めるといふ、まづ天狗が假に人間の風をして居ると思へば宜い人物だ △『へエー成程天狗樣が人間の風をして居る、さうでせうな 武『ぢやア旦那も天狗に違ひない、ぢやア旦那樣諸國御遍歷なすつて名ある人達と何れもお立合をなすつたでございませう 武『其れは申すまでもない、上州の上泉眞庭、出羽に諸賀、天童、常陸に飯篠武州に齊木、越後の上條大和に柳生寶藏院、尾州に至つて小笠原星野の人々中國には龜井之れは槍の名人だ當播州には戸澤山城守を初め何れも日本で屈指の人々だが一人として手に立つ者がない 〇『ヘエみんな負けたので 武『惡く拙者が打込んで了つた 〇『一體旦那樣は何んといふお名前で…… 武『拙者は奧州外ヶ濱の住人藤軍內兵衞臂輝といつて天下無敵流の劍法者だ △『天下無敵流、ヘエ聞いた事がないな 孫『乃公が開祖だ △『道理で珍らしい流名だと思つた、旦那樣が御工風なすつたので…… 孫『さうだ話ばかりでは分らんから一つ天下無敵流の技倆を見せて遣さう、見て驚くな町人』入方を見廻して居たがフト塚原の坐つて居る姿が目に入つたツイと立つて大刀を引提げ胴の間へ入りて 孫『アイヤ其れなる若い御人』と聲を掛けました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
安部醫院
京城永樂町二丁目金光教會隣 電話四一九番

曆

四月十二日 九紫
舊三月二日 己丑
本命二黑坤納彌滅

[illegible]

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番
義士廼家女優團連鎖喜劇一行
四月十一日午後五時より開演第四回替り狂言
第一 連鎖劇 高砂 十八場（實演で撮影せしもの）
第二 新喜劇 三つ違 三場 中野芳子十番の内
第三 播州合邦ヶ辻 一幕
第四 人情劇 姉と弟 二場
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
[illegible]
○滑稽 之大王チャップリン伯爵
○新派活悲劇『さんざ時雨』全三巻
○探偵活劇『四百十三號』全三巻
▲舊劇『荒五郎茂兵衛』全四巻
○大餘興 『英國軒ハレー』出演
[illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
東京浪花節會幹事 桃中軒如鳳 吉川小奈次
▲義烈百傑（如行）▲江戸の花（小女浪花節）▲義士傳（要照）▲清水治良長二郎（小善次）▲忠孝千種物語樋口三郎（如鳳）
[illegible]

黄金館 電話二三六三七 二三六六
[illegible]
▲裁判劇 少年義勇隊 全二巻
▲封切乃木將軍殉死之卷 全二巻
[illegible]

有樂館
[illegible]
○新劇 復讐美談『巨八郎』全五巻
○洋上活劇 漁市哀話運命の浪 五巻
○新派社會劇『嗣時の家』
[illegible]

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
京城府明治町二丁目四八
振替口座京城四八四六番
◎特約店希望の方は申込あれ

ゆびくすり
ゆび一切其外切疵、腫物、火傷、痔疾等の大妙藥は
定價 五錢 拾錢 三拾錢 五拾錢
本舖 大阪東區博勞町 浪速薬舖 中井馬盛製
御求めの節馬の商標に御注意を願上候

質
（大口歡迎）
黄金町長橋町入口 電話一九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

新學期は初まれり
先づ頭腦の明晰、精神の爽快、身体の健全、記憶力の增進を計られよ
而して朝夕召上る一杯の蛇の目印ポートワインは是等の凡てに滿足を與ふ
蛇の目印ポートワイン
蛇の目印ポートワインは最優良生葡萄酒を基礎とし補血强壯劑を主成分として精製せる醇良無比の代表的甘味葡萄酒なり
發賣元 大阪高麗橋 松下善四郎
（全國到る處和洋酒食料品店藥店等に販賣せり（品切の節は發賣元へ御注文あれ）
（定價壹壜金七拾五錢）

化粧崩れを手輕に美くしく直すには
御料 御園紙白粉
御花見でも御芝居見物に御出掛の節美しい御化粧をなさいましても、汗や埃で御化粧崩れのする事が御座いますが、御園紙白粉を懷中に御用意遊ばすと至極御安心です。御園紙白粉は紙も匂もよく白粉は純無鉛の御園白粉を用ゐ、肌を毫しも荒らす事なく美しく御顏直しが出來るから御座います。
御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(404)

京釜線（南行） 同（北行） 京釜連絡 京義線（北行） 同（南行） 京仁線 同（仁川行） 京元線（北行） 同（南行）
[illegible]

京城日報
四月十一日朝刊（夕刊併せて八頁）
第五版

▲十日後場 大阪 前引止め小高く後寄小安き入電
▲先限一節二十二圓二十錢十九錢八錢二節十九錢三節十八錢七錢八錢四節十八錢七錢八錢七錢八錢七

本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢△郵税一ヶ月金拾五錢△前金に限り△三ヶ月分金一圓六拾五錢△六ヶ月分金二圓△郵税代用は二割増
廣告料金　△五號十五字詰一行金八拾錢△七字詰一行金壹圓△四號十二字詰一行△三號十字詰
京城日報社　發行兼編輯人　印刷人　小川三之助
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
電話番號　編輯用長三一四五番　營業用長三二六番　振替貯金口座京城三〇〇番

遊支偶錄

蘇峰生

(五) 理想と實際

之を譬へば支那人は、理想としては、一個の坦々たる大道を作り上げつゝも、實際としては、他の勞路、小徑を行くが如し。行く可く作られたる道は、唯だ道として存し、一人の通過者なく、而して萬人の來往する路は、此の表街道の外に、他の裏路あるが如し。されば支那に於ては、一切の法度、如何に精美に出で來りたりとするも、概ね徒法たるに過ぎず。然も徒法たりとて輕視す可らざるは、猶ほ廢道たりとて、道として保存せらるゝが如し。

凡そ世界に支那程、空論國はなき也。支那人は、實行の前提として議論せず、只だ議論の爲めに議論す。彼等は議論は、必らず實行と、伴はざる可らざる要件を、識認せず。何となれば本來彼等に於ては、實行と、議論とは、全く別物視すれば也。是れ彼等の議論が無責任にして、愈よ出で丶、愈よ架空となり、放恣となり、收拾す可らざる所以也。

是を以て支那人を目して、極めて現實的國民と稱するも可也。極めて空想的國民と稱するも、亦た可也。若し單に其の實行の方面のみを見ば、所謂る地獄の沙汰も金次第の狀ありて、如何にも手輕き俗物の如し。されど其の高論崇議を事とし、何事にも庇爪らしき文句を唱へ、理窟を捏ね廻す點より見れば、彼等は如何にも慾得に無頓著なる、書生的の如し。乃ち一方より見れば、算盤的勘定高き大俗物也、他方より見れば、箸にも棒にもかゝらぬ卓上論客たり。苟も支那を解し、支那人を解せんと欲せば、此の實際と、理想との兩方面を、併觀せざる可らず。

之を要するに、理想の方面のみを見るも、實際の方面のみを見るも、與に不可也。而して理想即ち實際と見、實際即ち理想と見る、最も不可也。何迄も實際は實際、理想は理想として、之を別樣に見ざる可らず。而して一個の支那人は、即ち兩個の支那人也、一個の支那人は、兩個の支那人也として、觀察せざる可らず。此の如くして始めて、其の眞相を得るに庶幾からん歟。

英米に於ける製鐵業の趨勢（八）

ロ、鋼鐵生産費の昂騰

所謂戰爭景氣期間に於て「シュービリオル」湖の鑛地に於ける賃銀は一八五五年米國鎔鑛爐が同鐵鑛を使用するに至りたる以來未曾有の高騰を告げ其の運輸に從事する船舶の運賃、船員の賃銀等も亦た十年來未曾有の騰貴を來したり。既に是等の騰貴ある上に同湖畔に鑛山を有せざる鐵鑛會社等は法外に鐵鑛を需要するを以つて其の結果は「ローワー、グレート、レーキ」諸港の鐵鑛の價格に現出し來り八月初に於て舊式『ベゼマー』鐵鑛は五弗九十五仙『メッサバ、ベゼマー』鐵鑛は五弗七十仙舊式非『ベゼマー』鐵鑛は五弗二十仙『メッサバ』非『ベゼマー』鐵鑛は五弗五仙の相場を有したり。

骸炭も價格騰貴の速なる點に於て鐵鑛に劣らざりき骸炭の相場は一九一六年七月中一噸二弗七十七仙乃至三弗なりしが翌一九一七年五月末には八弗五十仙に至り爾來今日まで暴騰に次ぐに暴騰を以てし七月初の一週に於ける直渡しは一噸十六弗をして六月廿七日の相場に比し毎噸三弗の騰貴なり但し六月の最後の二週間及び七月初數日に於て『コンネルスヴィル』地方の生産過剩なりし結果稍後直渡しは一噸十五弗の相場に下れり屑鐵も亦骸炭と相並んで價格の騰貴を致したり一九一六年七月に於ける毎噸の價格は『フィラデルフィア』にて二十弗『シカゴ』にて四十七弗なり過ぐる數個月に於て市街鐵道會社等が其の不用鐵類を賣却するに當り殆んど其の敷設當時の原價に等しき價格を得たりと云へり左れば戰爭の止むに至る頃迄には一片の屑鐵も米國の地に跡なきに至るべし

更に米國に於ける銑鐵製造に要する勞力費を考ふるに戰前の十箇年に於ては巨大の鎔鑛爐に充分なる人員を備へても街道搬運轉要等を合し一噸一弗に過ぎざりき戰爭氣の勃興したる以後鎔鑛爐、轉爐工場等の賃銀に屢增加を見たれども尚勞力費が一弗四十仙を超過したるべきや疑はし一九一五年五月賃與金制度を設けたる某製鐵會社の成績によれば一九一五年五月より一九一七年七月に至る間に於て該制度による給料の增加は普通勞働者は一時間十九仙五厘より三十仙、鎔鑛爐運轉手は二十四仙より三十六仙又轉爐運轉手等は受負制度にて毎白噸につき八弗八十仙より十二弗三十四仙の增加なりと云へり鎔鑛爐其の他の鐵工場の普通勞働者にして一九一五年の夏初以降の如く高き給料を得たるとは米國鐵工業史に於て空前の事也とす

鮮人の使命と將來の覺悟

子爵趙重應氏客臘病に罹り心に迄に起つ能はずと做し一日肉親知己並に京城老人親の父老を枕邊に招き臥中筆を把つて『最念鮮人大勢。成須努力爵文明』の句を嘱し以て臨終の辭と爲す坐に侍する者趙氏が居常經世濟民を以て念とし切々國事を思ふの情を想見し相顧みて闇然たるもの之れを久うす其の後病勢漸く恢復し健康舊に復す某日京城老人親交老友及び知己有志趙子邸に來り會し日用度くも回想悦を述ぶる席上趙子は彼の一句を敷衍演繹して其の主旨を一同に語り來賓をして感激措く能はざらしむ左の一篇は即ち當時に於ける趙子の談話也

吾朝鮮人は過去五十年間世界の大勢に逆行し而も今日に至りて其間幾多の失敗と幾多の辛酸とを味ひ盡からざる經驗を積みたるに拘らず未だ全部の大勢に通せりと言ふべからず即ち世界の大勢に昧き爲め東洋の趨勢を知らず東洋の趨勢を知らざるが爲め極東に於ける吾日本帝國としての位置、責任、勢力及び文化の程度に疎く爲めに現今帝國新附の臣民たる朝鮮人の立場と義務とを充分了解せざるなり故に吾人は現在は勿論將來に於ても大に此の點に留意するを要す顧みれば吾朝鮮の民族たるや世界十六七億民族中僅か二千萬に足らざる微力なる民族にして其富の程度は多年荒廢せる爲め國産更に擧らず又個人の資産を見るも全道第一の富豪なりと稱せらるゝ者さへ一千萬圓以上を有する者なく況んや其他は推して知るべきのみ又智識に於ても從來教育の普及周からず殆ど幼稚に屬し無學の者多く半開なりと云はざるを得ず是れ即ち五十年間世界の大勢に逆行し自ら招きたる結果に外ならず深く懺悔に堪へざる次第なり而して今日世界の大勢たるや歐洲大戰に際し其間に介在せる小弱國は何れも國破れ民滅び其悲慘言ふまでもなく近く東亞にありても西隣支那は匪賊事件以來騷亂國内に絶ゆることなく民生一日も安せず又北隣露西亞各地を見るも本國大革命以來黨派の爲め擾亂の巷と化し晉々外敵に國を蹂躙せられ有史以來未だ嘗て見ざる慘劇演ぜられ其の狀實に言語に絶し其の狀態寧ろ支那よりも甚だしと云ふべしされば足一度朝鮮を出づれば安全なる土地無しといふも不可なし然るに朝鮮人は今日泰平の幸福を受け武陵桃源の別世界に安堵す之れ言ふ迄もなく全く上天皇陛下の稜威と帝國の威力と文明政治の賜とに依らずんばあらず是れ敢て予の論を俟つまでもなく諸君必ずや同感ならん只茲に遺憾なるは吾朝鮮人同胞は世界的智識に乏しき爲め種々の語流言に迷はされ且つ誤つの嫌なしとせず誠に惜しむべく能はざる處なり茲に於て今日集會せられたる父老としての諸君に對し特に希望する處は東洋の平和並に朝鮮人の開發に關する政務は自ら當局に於の責任者は地理上の關係より見れば内地人より朝鮮人の位置最も重且大なりと云ふべし回顧すれば吾先輩同志の者悉く冤罪を以て慘害せられ此大方針の犧牲となれり不肖不德なれども萬死の餘命を今日に僥倖し四十年來先輩同志の者と共に一生を通じ心血を注いで國家の爲めに盡瘁せり而も常に予は吾朝鮮人同胞に警告し『東洋人は東洋人と共に東洋を根據となし一は東洋を守り一は其勢力を團結強大ならしめざるべからず』と極論したるに拘らず吾同胞中往々外人の爲め誘惑を受け其の大方針を誤りたることありしは徹骨の恨事なり而して内鮮人相共に外に對して其方嚮を同うすべきことは今日にて遺漏なく盡瘁する處あり雖も之を深く服膺して人心の機微を察し徹底感覺せしむるを要す之蓋し諸君の責務たるべし今や北境の風雲頗る險惡に赴き國家多事の秋吾々新附の人民は帝國の爲め又自己の利害禍福の爲め公私共に一臂の力を添ふべきは當然の事なり而して此際吾人の覺悟は只一あるのみ即ち人民一致結束して至誠の精神を鞏固ならしめ力の及ばん限り國家に貢獻するにあり朝鮮人も内地人と同じく極東の人士なれば共に東亞の安全を双肩に擔ひ國運の發展と勢力の增大とに全力を盡し互に相抱合擁護して極東の天地をして危を轉じて安となし禍を變じて福となし永久完全なる平和を計るに力めざるべからず而して其直接始まりたるにあらず併合前後動かすべからざる共通根本の大旨なり希くば諸君聊か微衷のある處を諒とせられ國家多事の秋一層奮心して吾同胞の乘心を結束一致せしめ其歸結する處を誤らしめざる樣各郷黨の子弟に普及せしむべく努力し其父老たる責任を完うせんことを切望す

ハリス博士と博士に贈れる記念館内部

ハリス博士の新宅

山縣生

昨年ハリス博士は七十の齡に達してメソヂスト教會監督の職より退かるゝや、博士と親交あり、若くは博士の高德を欽慕する人々、博士をして靜かに其老年を養はしめんが爲めに、地を鎌倉に卜し、新宅を建て之を博士に贈らんとを議した。博士之を聞きて其好意を喜ぶと共に、志を洩して曰く、自分は隱居を好まない、齡は七十に達したれど心身共に未だ衰へず、願はくば東京に殘りて我愛する日本の爲に働かんと、茲に於て博士の友人等は更に醵する所あり、東京青山學院の構内高燥にして日當りよき地に住宅を造り、之を博士に贈りて、博士の多年我國に盡されたる功勞に酬ゆることにした。斯くてこれに要する資金を募集したるに、一萬數千圓の金は忽ちにして集りしかば、其うち約一萬二千圓を支出して新築と屋内設備とに充て、別に千五百圓を博士に贈呈することゝなつた。此程工成り、數日前博士は披露の爲め其の新宅に於て茶話會を催されし由にて、博士は一書を余に寄せて其感想を述べて曰はるゝやう『私は今私の自宅に住むことゝなつた。委員は今日正式に此の美はしき家を私に引渡したが、それは無瑕の玉である。家の中は我愛する友人等の贈りくれた道具や何かで滿ちて居る。私は嬉しく感謝の情で胸が一杯になつて居る。今日は多くの友人が種々の美はしき贈物を携へて祝賀の爲めに來てくれた、何と云ふ親切だらう。私は此家が天の使の住家であり、此家から天國へ行く多くの人が出ることを祈つて居る』と博士の喜びや眞に察すべく、亦た美むべしである。

愛を以て他の爲めに働くは無爲ならず。自己を捨て、他を愛する人は、財を積まず、美田を買はずとも老後の心配を要せざる事は我ハリス博士の例によりて知るべし。願はくは予も他日博士の幸福の萬分の一を享け得る人となり得んことを。

法人登記
沙里院地方金融組合登記事項中左ノ通變更ス
出資口數壹百六拾四口拂込ミタル出資總額壹千武百七拾九圓拾九錢ヲ出資口數五百拾四口拂込ミタル出資總額武千拾六圓六拾六錢トス
右大正七年四月九日登記
方法城地　沙里院出張所

一層武壹ケ年産額約壹萬五千貫匁
右拂下ケ詳細ハ四月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

模範的獨習書　文學士内海月杖著
(最新刊) 作法文範 作文大觀　文學士内海月杖著
總ふりがな付 四六判三百四十頁 上製箱入 定價金壹圓 送料金八錢
内容は第一篇に平易親切に作法を説き第二篇に諸大家の模範作文を掲げ第三篇は著者の傑作等を示したり
(第三版) 作法文範 書翰文大觀
總ふりがな付 四六判三百五十頁 上製箱入 定價金壹圓 送料金八錢
内容は第一篇に作法を説き第二篇に蘇峰、蘆花、三汀、桂月等の模範文を掲げ第三篇に著者の文例を示し第四篇には最も必要なる類語等なり
右二冊同時に買入の方は送料要らず
帝國植民調査會編 最新南洋事情
四六判 定價七十錢 送料六錢
◎本書は最近の調査に成る南洋、南米中米北米は勿論各國の紹介、渡航者に必須なる心得、旅券下附願の手續、其他各種の事項を網羅す
高正堂書店

菊苗
他に類なき珍種を集め之が培養法を…
大阪府天下茶屋　菊苗園

經營三十有餘年　通信教育界の權威
早稻田大學講義錄
總長 大隈侯 より優美なる 獎學メダル 贈與其他 特典多大
▼小學卒業後自宅で中學入校同樣の學力が得らるゝ日本一の獨學機關
中學講義
第一號出づ　速に入學せよ！
▼商業大發展の今日！立身成功の指導者は是れ
商業講義
政治經濟科　法律科　文學科
何時にても入學せしむ　規則書は申込次第贈呈
各科見本附規則書直に送呈すべし　葉書にて申込次第
東京牛込早稻田　申込所　早稻田大學出版部　電話番町 三三三 四七四 五二二

少女の友增刊
たのしき十とせ
四大讀物
少女小說 春を咲く花　菅野考枝
長篇物語 李王と鳳王　水上こまき
少女小說 寢椅子　素木しづ
宮歌劇 ジャンケン國　瀧澤青花
樂しき ◎大正二年以後の少女の友　星野水裏
十とせの思出…社中同人
來し方を振返りて…愛讀者中
◎記念時計受領者の姓名及府縣別
一冊 五十錢 郵税二錢
東京牛込 實業之日本社

東洋經濟倍號
四月五日
第二回年鑑要目
銀行金融 會社物價 貿易運輸 財政土地 財界月誌 株式生産 動力 社會 保險
第一回と全く面目を改めて、知らざる事なし
本紙面要目次
税制の改要 炭價調節の要點 最近獨逸の金融 鉛市場近況 放資要報 其他
平常の本紙に三百餘頁の年鑑一部を添ふ
内容見本無代呈
經濟年鑑
特價九十六錢 送料地方八錢 東京四錢
東京牛込 東洋經濟新報社 振替口座六五一八番

貴君の計算能率は本書の使用に依りて確に五拾パーセントは高まります
熱狂的歡迎ち忽六版
算手必携 此は調法
内容
本書一たび出でて面倒な乘除開法を行ふ要なく計算尺對數尺すらも無用になつたとの好評
◎總ての乘除が加減のみで出來る乘除表◎簡短な乘除の結果や百分比千分比の一覽できる計算尺代用の步合表◎金利計算一切の實用表、複利表、複利現價表、年金總和表、年金現價表年利日步相互換算表年利日割月割表等◎各國度量衡貨幣の精密なる換算表◎平方立方表、重要係數表、等あらゆる實用計算表を網羅して其使用法を懇切に說明し◎卷頭には大數乘算器として圓周率簡便計算表◎九太尺縮早見表、立木尺〆算出用表、桶樽類容量算出表◎慣用單位一覽表等も便利なる乘算牌三組を添へ◎卷末には算珠速算法の要領を載す。眞にこれ實用第一！實務家技術家教育家の寶典
最新型二百頁美本 定價送料共八拾錢
小澤啓太郎先生著
東京日本橋柏木町四三九 平凡社 元版 振替東京二六九三九番

日英兩陸戰隊 正式撤退要求

露國外交委員は日英陸戰隊の浦鹽上陸に關し聯合國代表者に對し正式に抗議を提出して該陸戰隊の撤退を要求せり聯合國代表者は是れに對して陸戰隊の上陸は地方的紛擾より來りたる全然局部的事件なるを以て同事件は直に解決を見る可しと回答せり（莫斯科電報）

狼狽せる勞農政府 日本は露國革命を亡さんと言明

日英軍が浦鹽斯德に上陸せりとの報一度び至るや勞農政府は且つ怒り且つ驚きたるが如し即ち日本がウラル以東の秩序維持を希望し日本人殺害事件を好機とし遂に露西亞の領土に攻め入りたりとし日本の參謀本部は西伯利に於ける俘虜の任務に就き奇怪なる報道を發したりとの說及び羅馬に於ける日本大使は獨逸俘虜が武裝して西伯利鐵道占領の準備を爲せりとの言明をなせり等の說を冷笑し且つ曰く極東に於ける勞働者農民及び市民は新らしき恐るべき試練に遭遇し內部に力を喚起したり西伯利中產階級は外國人の手を延ばさしめ少數の社會革命黨員は武裝せる日本軍の侵入を歡迎したり露國の革命を亡し勞農の有する權力を奪はんとの計畫に對し露西亞の中產階級及び商人並に穩和派は日本と倶に行動したりなど大袈裟に吹聽し更に勞農政府外務執政官は日英兩國軍が浦鹽に上陸したる事に關し勞農政府を代表し莫斯科に於ける英、米、佛の軍事代表者の來會を乞ひて外國軍隊の露西亞の領土に上陸したるに對し抗議し且つ勞農の權力を敵視する如き本事件の出來に對し深く之を遺憾とする旨を表白したりと（哈爾賓特電）

浦鹽の勞兵會長に嚴命

レニンより浦鹽勞兵會長スバスノフに對し若し外國軍隊が攻擊することあれば浦鹽に於ける總ての物を破壞し一物をも外人に手渡す可からずと嚴命せり（長春特電）

勞兵會集會と抗議

浦鹽來電＝市內は非常に靜穩に歸し安全に外出し得らるるに至りたり勞兵會は土曜日總集會を催ほし日英支三國に對し抗議を申込みたるも日本提督は是れを受取る可き筋合に非ずとして相手にせざるより右抗議文は領事團會議に送られたり（哈爾賓特電）

對獨條約違反抗議

勞農政府外務執政官は獨逸外務省に對しブレストに於ける講和條件第六條に露西亞の軍艦及び商船並びに其の所有財產、芬蘭沿岸諸港に築造せる財產は獨逸に於て手を著くべからざる事となり居れるに拘はらず獨逸艦隊は條約を無視し砲壘及び港灣を占領し武裝なき露國沿岸に陸戰隊を上陸せしめたる等の事は明らかに條約に違反せるものなるを以て宜しく獨逸艦隊司令官を戒告せられたしとの抗議を送れり（莫斯科電報）

露人の捏造說流布

哈爾賓に過激派及び獨墺俘虜潜入し我が正金鈔銀等を要ふべしとの說盛んなるが是は一部の露人が浦鹽に我兵上陸せるを憤慨して捏造說を流布せるものと判明せり（長春特電）

米人の態度一變す

莫斯科に在る米國陸軍少佐は西伯利を旅行せしも獨墺俘虜の活動せるを認めずと言明せり近頃米人の態度俄かに變り竊かに露人の歡心を買ひ利權を得んとする者多しと傳へらる（長春特電）

南北合同計畫

梁士詒氏は六日午前北京を去り天津に向ひたるが在京の間は中外[illegible]起草して南北兩方に提出すべしと目下天津には周自齊朱啓鈐熊希齡氏等あり皆梁氏の同意として平和理も極めて傾聽し又南方有力者も之に絕對に反對せざると即ち梁氏は今後天津を以て中心となし南北合[illegible]

獨墺俘虜ブ市到著

數百名の獨墺俘虜は武裝して五日ブラゴエチエンスクに來れりと同地より情報ありたり（長春特電）

今後の戰鬪は聯合軍の勝利に歸せん

フォック將軍は言明して曰く『萬事好都合に進捗しつゝあり怒潮の如き獨軍の攻擊部隊が其目的を遂せんとする間際において擊破されたるは明白なる事實なり獨軍は今や築堤と相對峙し其前進は完全に阻止せられたり今後戰鬪の經過は全部我軍の成功を示すに至らん吾人は更に一層の努力を盡して獨軍を壓迫せんとす予は如何なる事の起るかを語る自由を有せざるも唯だ萬事完全に進行しつゝありとのみ謂はん』と（巴里電報）

□英佛兩元首御答電

天皇陛下には六日英佛元首に對し御親電を發せられたるが是れに對する御答電十日宮內省より發表せられたり（東京特電）

英國皇帝御答電

陛下ノ電報ヲ辱ウシ深謝ニ堪ヘズ今ヤ朕ノ軍隊ハ敵軍ノ加ヘタル決死ノ攻擊ニ對シ勇敢ナル抵抗ヲ爲シ幸ニ陛下ノ賞揚ヲ博シタルハ朕ノ誇リトスル處ナリ我軍ノ遂ニ其勝利ヲ收ム可キ確信ニ對シテハ朕モ亦陛下ト共ニ其感ヲ同クス

日本國皇帝陛下　ジョージ

佛國大統領答電

予ハ佛國軍ニ寄セラレタル祝詞ニ對シ陛下ニ謝意ヲ表ス此祝詞ハ今ヤピカルジーニテ奮鬪セル勇敢ナル軍隊ニ對シ貴重ナル鼓舞タル可シ敵軍ノ角逐ヲ支持スル聯合軍ノ不撓不屈ナル精神ハ我軍最後ノ勝利並ニ吾人協同ノ希望ノ完全ナル實現ニ對シ吾人ニ確信ヲ與フルモノナリ予ハ茲ニ陛下並ニ日本國民ニ對シテ致セル祝福ノ意ヲ諒セラレン事ヲ希フ

日本國皇帝陛下　フ、レーモン、ポアンカレー

敵大規模突擊兆候 各種の砲銃を戰場に運搬す

局部戰は英軍戰線の各所にて引續き行はれつゝあるが敵は今や再び大規模の突擊を行はんとする兆候あり獨軍は多數の各種の砲銃を戰場に運びつゝあるが我軍は巧に是れに對抗しつゝあり（倫敦電報）

英國首相の戰局觀

英國首相ロイドジョージ氏は下院に於て述べて曰く今や險惡なる戰局の大部分は小康となり而も颶風は尙未だ全く通過し了りたるに非ず帝國の運命は最後の攻擊に對する抵抗の成否如何にありと言ひ得べく而して幵は極めて多大なる犧牲を意味すと（倫敦電報）

獨軍前進行動中止

半官的報道に據れば三四四高地に於ける獨軍の攻擊は是れを以て同地に大攻擊行はる可き前兆と見做す可き根據[illegible]

[illegible]止令に依り八十餘種の禁入となり引き續き其の品目增加となるべき[illegible]間に於て歐亂發生後閉店したる大小の貿易業者は外註の輻輳に驚喜して僅少の手金を製造家に交付し[illegible]よく金融を與ふべきや不明となりたる曉に於て自家資產の確實なる者に在りては向は更に角然らざる者に在りては行詰らざるを得ず他面在外註文商に出現するに至らば無論價格は案外の下押となり損失程度は計るべからざるに至らん況んや內地向[illegible]は不可抗力事件として遠慮なく契約の取消を實行して顧みざる可く[illegible]影響たるべきを思へば米國禁入問題を眼前にしたる我が商業會議所は叙上出來事の頻出せざる先ち此方面に相當の[illegible]

◎駐露獨大使

駐露獨逸大使たりしリルバフ伯爵は今回駐露獨逸大使に再任せられたりと（哈爾賓特電）

無くば是れに依り一般的新運動を豫想するの必要なし獨軍は甚大の死傷を出せる結果一時アミアン方面の前進運動を中止し居るも獨軍幹部の目標は依然としてアミアンに在り多數の豫備隊は目下盛にアミアン方面に向つて移送せられつゝありと（巴里電報）

◎外相內府訪問

本野外相は十日午前十時松方內府を三田の邸に訪問し外交上重要事項に就き委曲言上の後辭去したり（東京特電）

◎二大臣參內

加藤海相は十日午前十時半參內地中海に於ける我が派遣艦隊の活動其の他に就き奏上又大島陸相は午前十一時參內兩官重要事項の奏上を爲し勅問に奉答の後退出せり（東京特電）

◎海軍參謀會議

十日午前十一時より海軍々令部に參謀會議を開き軍令部長以下各部長出席重要問題に關し協議せり（東京特電）

◎隈川博士葬儀

東京帝國大學醫科大學長隈川醫學博士の葬儀は十日午後二時青山齋場にて佛式に依り執行文武高等官學界乃至名士一千餘名參列頗る盛儀を極めたるが畏き邊りにては午前十時勅使として侍從[illegible]元男を同博士邸に差遣され幣帛白絹二匹を下賜されたり（東京特電）

◎邦人顧問招聘

豫て協議中なりし吉林督軍署の日本人軍事顧問招聘の件は愈々招聘に決し目下適任者物色中也（長春特電）

◎郭省長歸任

九日夜北京より來奉せる郭吉林省長は十日張督軍を訪問同夜十時發にて長春を經て吉林に向ふ（奉天特電）

◎辭令

十日左の通り辭令ありたり（東京特電）

從三位勳一等伯爵 李完用　敍正三位

正五位勳一等子爵 權重顯　敍從四位

同 李夏榮　同

同 李根澤　同

◎四平街地方事務所 獨立披露會

四平街地方事務所獨立披露會は九日午後二時より開催し來賓日支官民九十餘名あり服部公主任田中四平街所主任の獨立披露挨拶泉水民會長支那商務會長祝辭佐藤守備隊長發聲にて萬歲を三唱し祝宴に移り餘興として各料亭藝妓の手踊ありて盛んなりき（四平街特電）

◎永沼中將講演

永沼中將は十日夜來長在鄉軍人の爲に講演を爲し十一日吉林に向へり（長春特電）

◎滿鐵營業課長

滿鐵大連管理局營業課長は十日午前六時半來安新義州ホテルにて少憩後安東を視察し有志の午餐會に臨み午後六時半朝鮮線視察の爲め南下す（安東特電）

滿洲里以西不通

滿洲里以西後貝加爾鐵道との連絡中絕し露國行乘車券の發賣は全く中絕されたり

區域外通學許可

先般來京城學校組合に於て問題となり居りし鷺梁津方面より京城學校組合區域內小學校へ通學する兒童に對する組合の態度如何につきては當時組合

▲理事者側 の意見としては目下京城學校組合にては年々六七百名宛の就學兒童增加し既に組合區域內兒童すら收容する能はざる狀況なるを以て到底區域外の通學兒童をも收容する能はず當學校組合の經費に於て餘裕あり學校の增築若しくは新築を爲し得る程度の豫算ならばイザ知らずさりとて組合員の負擔能力に急速の增率を望む能はず極めて緊縮せられたる組合豫算の現狀なるを以て已むを得ず區域外よりの通學を

▲一時謝絕 するの餘儀なきに至れり依て暫らく之を謝絕せんとすと言ふに在りしが組合會議員の大部分は右は京城學校組合の態度に關するものにて當組合內就學兒童の增加は今に始まりしもの非ず漢江人道橋の開通と相俟つて龍山鷺梁津の如きは最も密接なる交通關係を有する樣となりし現在鷺梁津の父兄が通學里程遠き

▲永登浦其他 の學校に其の子弟を通學せしむるを好まず人道橋を隔つれば直ちに龍山小學校のあるあり蓋し當學校組合に通學せしめんとするは彼等の父兄が等しく當組合を敬慕して通學せしむるものと言はざるべからず今突然之を謝絕するは學ろ酷に失する嫌あれば理事者側に於ても更に研究の地歩を進められ度しとの趣旨を主張するに至り依つて理事者側に於ては其後右件に關し研究を重ねたるが其の結果愈々當分の間鷺梁津兒童の通學を許可する事に決せり而して同地域を京城學校組合區域內に編入せんとの議に就きては尙當局に於て研究中なりと

◎九州視察團參加者

我社主催九州視察團の出發期も愈々目睫の間に迫り昨今申込者續々として引きも切らず團體組織後の盛況今より思ひ遣らるゝ次第なるが今回全北輕便鐵道株式會社取締役趙命九氏外十數名右參加を申込み又男爵金嘉鎭並に男爵朴箕陽の兩氏參加すべく而して金男爵は世人の知る如く書家として又詩人として錚々の聞ね高く朴男爵は碁界の妙手として令名あり共に春風雅を駢せて筑紫の野に吟嘯すべきも時維れ陽春彌生四月蓋し其の錦心繡腸より成る名句名畫は筑紫の山水風光を遺憾なく描し得て躍如たらしむるものあるべく同時に必ずや世人をして眞に迫らしむるものあるを疑はず

百噺百猿

米國の陸軍急造と共大規模なのには全く驚くの外はない半歲の間に少尉ばかり五萬人程出來た▲如何に急造でも三箇月卒業の少尉では捧げ筒も滿足に出來なからう▲過般宮野少尉が米國へ行つて兵舍を訪問すると各兵科が軒を並べて幾哩となく續く一丁目から三十丁目迄あつて師團長の官舍は十三丁目だなどと云はれると兵營の前を一里も行かねばならぬ▲下水水道鐵道其他交通機關が一切完備して經費は實に絕大なもので一兵卒が死んで得る年金が一箇月九十弗だと云ふから日本の將官の年俸程である▲回々教の豫言書中に『將來ゼルサレムの都を取る者は神と豫言者の名を合せたるものなるべし』と記してある▲過般ゼルサレムを占領したアレンビー將軍の名を解剖するとアラー（回教の神の義）とネビー（豫言者の義）の二語を結合したもので全く豫言が當つたから回々教徒は甚くアレンビー將軍を恐れて居る▲又同豫言書に『戰勝者は徒步にて聖市に入るべし』とあるが將軍入市の際には是れ亦徒步であつたとの事だ▲支那の鼠疫を視察して歸つた北島博士の話に據ると支那の都市は大概城壁を繞らし四方に門があるから之を閉めさへすれば完全に交通遮斷が出來る豫防の理想通り行はれるのは先づ支那だらうと

◎質問隨意◎ 面目一新（實業法律政治問題） 國民法律 日常法律顧問雜誌 判決例、學說、評論、平易說明 年中無料金融審査郵便電話質問應答 數年分合本代用 各地支部員募集 見本七錢 第九年四月號八十八號 △商取引解除の効力 △債權消滅と物上保證 △不動產の權利時效 △法律の進行した所有 △貸金と利息と時效 △再賣買豫約と手附 △債權引換的の判決 △勝居と家賃財産… △公債と株券の時效… △米穀の貸借は高利 △不良品と賣主の損… （外十數項） 東京市法町六七番地 國民法律社 總代理店京城日報社

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ 鑛業講習錄 新學期開講入學の絕好期 目下入學者には特點あり 本校は最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を授け鑛業技手及び技術員を養成して人物拂底に苦しむ斯界に就職紹介す ●規則は申込次第送呈（郵券二錢） 京城府漢江通り十一番地 電話四五三番 大日本通信鑛山學校朝鮮支部

好評絕大初版即日賣切再版 飛ぶが如し 新探偵小說號 再版出來 探偵雜誌
◇生活難と犯罪…布施辰治 ◇三十年間探偵を欺し抜いた大惡漢王の一生…末村 遊女 花扇の死…泉斜汀 採偵奇談 舞衣裳…前田曙山 ◇ピストル强盜…黑頭巾 探偵 赤坊の犯罪…松月 情話 尾花家美の吉…貞山 探偵新作 山祝ひ…岡本綺堂 英獨最後の通牒 戀愛物語 金髮…人魚 夫婦探偵…たみを 探偵犬と其成績…有美 高田の馬場の縮屋殺 薩南探偵錄…平井晚村 九州樓夢譚…高橋雨情 三浦屋揚卷…園玉 東京の怪談 自殺者？ 春季特別號 卅五錢 實業之世界社

賜天覽 獨逸の肉彈 二十版 參謀總長男爵上原大將閣下序 帝國在鄉軍人會副會長男爵福島大將閣下序 獨逸ヘッケル大尉著 日本芹澤登一先生譯 四六寫眞數葉入 頗美三百廿頁 正價一圓廿錢 送料八錢 東京神田 東京堂書店 振替東京二七〇

廣告
拜啓陽春之候各位益々御健勝の段奉慶賀候陳者各位の御深厚なる御引立に依り當組合も日增に隆盛に趣き誠に難有奉萬謝候扨而御承知の通り昨年以來原料及び容器の騰貴に連れ不得已再三の値上御相談申上居候處何とか御得意樣方の御便利を相計り度存居候折柄其筋の御內諸をも得市內小賣に限り白今容器を御用立仕り中味のみを廉價にて販賣致候間倍舊の御引立之程伏而奉懇願候敬白
但し右容器は赤塗とし組合の燒印を押捺致置候條賣買等は一切堅く御斷申上候
京城醬油釀造組合

▲事務服（和洋服兩用）▼ 黑毛朱子製 金四圓四拾錢也 黑褐城製 金三圓四拾錢也 但丈三尺二寸ト四寸ノ二種均一值段 送料鮮內拾貳錢外三十錢 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

萬年筆商 早川梅次郎 右者當店名義を詐稱し頗る粗惡の萬年筆を持廻る由當店と何等の關係も無之に付此段謹告候也 京城旭町 東京パイン萬年筆京城製作所

上京中の處昨日歸院從前通り診療に從事仕候 四月九日 京城壽町電話一二〇一番 二宮醫院 醫學士 二宮亮吉

京日案內
普通 一回前金（一行）五十錢 一番外 一回前金（姓名一回毎）
▲申込後中途廢止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御都合により返信料は申込人負擔のこと ▲御照會は必ず返信料御添付を乞ふ
◎弟子入用 十五歲より十八歲迄 京城本町壹丁目 守山印房 電話五四二番 535
◎藥劑師至急採用 履歷書携帶本人來談あれ
貸家 澤山有り望み通り周旋す 電話 三好仲介業 電二〇〇一番 佐藤 655
代診一名 看護婦一名 見習看護婦入用 希望者は至急履歷書送れ 黃海道兼二浦 共立病院 640
花井大藏 寶目錄往復端書申込送呈 ゼラニウム十種一圓 朝顏十種五十錢 夕顏三種廿錢 廣島上田町百草園
◎春川行自働車 午前八時發 京春自働車商會 松田壽男 京城水標町 電話二一三八番 612
山東省特產 支那山東省芝罘 萬種子物商老舖 御一報次第定價表進呈す 川上洋行
◎外交に經驗ある方有給にて雇入委細面談 南山町一ノ五 都留方 川口 54
◎店員入用 十七八より廿五迄七八名 希望者來談要保證人 仁川新町 電話七六二 津田兄弟屋 655
貸家 昌德宮橫日本建六疊外三室付 間廻條安園湯殿花園畑 官吏會社員向電二五九九番 高麗人蔘製劑所 652
小供（男女）入用 但十五六歲迄の者 希望者は本人來談あれ 仁川 三仲買店 618
椅子 卓子 金庫 新古格安製造販賣 京城黃金町二 長電二四二一 室商店 589
六十八回新債券 舊債券と御交換も致します 太平通一ノ一 電二七九三番 朝鮮產業社 78
◎櫻楓各種 其他觀賞樹 三年以上八年生五萬本安價提供 多少不拘御用命 京城植物園 610
年金恩給 最長期即時立替 四年半迄保險不要 ▲利息安割引なし ▲京城永樂町 商品陳列館表門前 江州屋本店 624

眞空から落下
◇獨逸の怪砲彈 ◇は孫彈でない
=角度を計つて上空高く〳〵打あげる=
◇富士山の六倍半の高所に

西部戰線で獨逸が打放した孫彈の怪砲は一時世界の驚異となつたが某專門家は正體が解つたよと語る兎に角三十里も遠方から飛來したので

□孫彈 だらうと眞實しやかに傳へられたが最近研究の結果に依ると怪砲は口徑二十四サンチ砲身の長さ十九間四尺八寸と言ふ驚く可き巨大な物であるが、所で普通の大砲は砲の

□角度 四十五度が最大限度であるのに怪砲は六十度の角度を以てし初速即ち彈丸が砲口から飛出した最初の速力が一秒間に約五千尺で砲彈は一旦眞空界に突抜けて空氣の抵抗力のないのに乘じて非常な

□速度 で進み斯くて二十五里の遠方迄著彈するのである地上何米突以上が眞空界であるかは學說區々として今に適確でないが此の怪砲彈の最高度は

□著彈 距離の四分の一即ち六里九町に當るから約八萬尺富士の高の六倍半まで飛上る理である

●李埼鎔子所有地賣却事件の眞相
=總督府當局の談

旣報李王職事務官金東完氏の自殺未遂事件に關し同氏の一身に後暗きことありとの風說あり延いて李王職の內部に對して兎角の思惑を爲すものあるやに聞けるが右に就き十日正午總督府總務局長室に於て總督府出入記者團に對し荻田總務局長より總督府の名に於て左の如く事件の眞相及び辯明發表せられたり

李埼鎔子所有土地賣却事件に關し世上種々の風聞行はれつゝあるも

▲事件の眞相 は李子爵家が人も知る如く李王家と近親の間柄に在る關係より往年來李子爵家の家政不如意に陷りたるに對し王家に於ても之を傍觀する能はず之が救濟整理の方法を講ずることゝなり其整理調査事務の監督に李王職會計課長近藤左右一氏を當らしめ子爵家にては別に家政整理事務一切を辯護士岡田榮氏に託し著々

▽整理進行中 子爵家所有忠淸南道禮山郡所在の土地を賣却し債務辨濟の資に充る事とし客年來之が買手を物色しつゝありしが本年一月金碩鎭の實父某が地方に隱居すべく土地を買入れんとすとの趣にて李王職事務官として問題の人となり居る金東完氏を訪問し紹介の勞を執らむ事を以てせるが金東完氏は碩鎭の實父と懇意の間柄なるを以て快く之を諾し本件の整理に關係ある近藤會計課長及び岡田辯護士等に紹介せるは抑々本件の發端にして其後金碩鎭と整理委員との間に賣買に關する交涉開始せられたる賣買兩者間に於ける

▽價格の協定 容易に纏まらず、賣主側は十三萬圓を唱へ買手側は十二萬五千圓と稱し其差額五千圓なりしも遂に賣買兩者の突讓にて十二萬八千圓にて折合ふ事となり買人金碩鎭より保證金として金二萬圓を提供するの契約成立し碩鎭は直ちに內金として一萬圓を提供し殘金一萬圓亦數日の後李王職に納付を了し茲に本契約の締結を見る事となりし折柄突然

▽金東完氏は 三月十二日を以て本件の成行に疑ひを挾み調査をなしつゝありし警務總監部より召喚を受け右土地賣買に關し氏が金碩鎭より周旋料として金一千圓を收受せし事なきやとの取調べを受けたり當時本契約成立と共に金碩鎭は金東完氏を訪問し周旋料として一千圓を提供せるも氏は之を收受すべき性質のものに非ずと懇々其不心得を諭して之を卻け其夜碩鎭自身更に金東完氏の自宅に持込み是非收納する樣との懇請をなしたるは

▽事實にして 東完氏が再び其不心得を諭し返戾せるも各方面の調査により明かなる事實なり然るに右土地賣買の當事者たる前記金碩鎭は實際自己之を購入する者に非る如く彼の擧動頗る不審なるものあり遂に警務總監部の注目する所となり本件に對する總監部員の活動と共に二月下旬より之が取調に著手し三月六日より

▽金碩鎭拘束 せらるゝに至りしが李子爵家との賣買契約上の買主名義人は李士彥となり居るも眞實の買主は開城の富豪朴宇鉉氏にして朴氏は十三萬五千圓を以て買取る事となり居れり即ち疑問の伏在は此點にして李子爵家と金碩鎭との協定價格十二萬八千圓に對比し眞實の買受人は十三萬五千圓を支出せる故其差額七千圓は全く行衞不明となりし譯なるが右七千圓中二千圓は金碩鎭より岡田辯護士事務員大塚某に手數料として

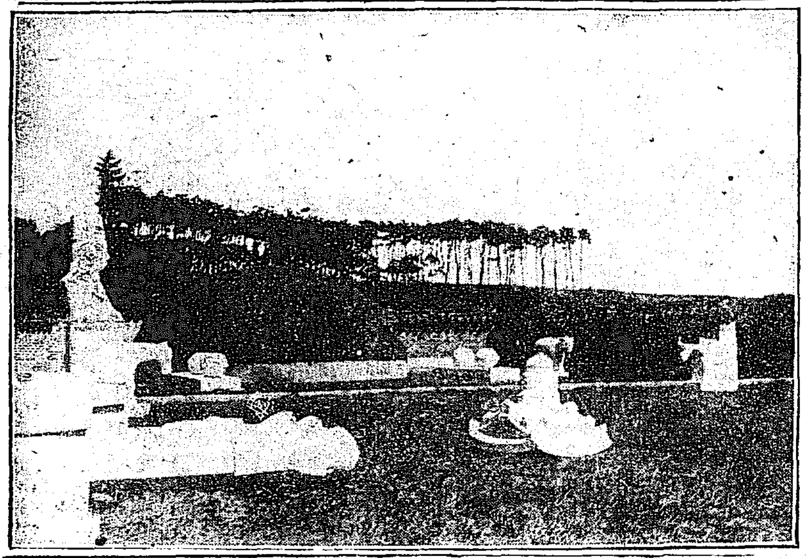
▽本契約締結 の際贈與せられしを以て殘額五千圓の行衞不明となれり尤も此內一千圓は前記の如く金東完氏に贈らむとせるものにして金碩鎭全部を著服せるものゝ如く橫領詐欺被告として金碩鎭は三月十九日總監部より京城地方法院檢事局に廻はされたるものなり要するに金東完氏は裏面に斯の如き

▽魂膽伏在す るを知らず又開城の富豪朴宇鉉氏の眞實の買主たる事をも辨せず全く友人たる碩鎭の父が田舍に土地を求むるものと信じ之を周旋すると共に再度謝禮金を返戾せりと云ふが金氏は警務總監部の喚問を受くるに及び極めて氣の弱き人にやありけむ爾來恐怖心に襲はれ不安の念慮に不眠症に陷ると共に精神狀態に異狀を呈し何物の魔か

▽自己を陷れ むとするものありと幻覺に襲はるゝに至りしより閔長官の如き屢々之を慰藉し靜養する所ありしも遂に三月二十七日溫陽溫泉に赴き靜養する所ありしも心神全く錯亂し自殺を企つる等騷狂狀態を呈せるより遂に總督府醫院に入院加療する事となりしに閔長官其他始終之を見舞療養亦宜しきを得て今日にては殆ど快癒平生と異ならず一兩日中內地に向け轉地靜養の途に上る筈にて同氏の本件に關する眞相は大略右の如くなり

▲精査を遂げて 此際特に辯明を要するは李王職會計事務に對する世上の批判なり世上にては李王職會計を往事の韓廷時代の紊亂に聯想して今日も尙かあらずやと想像誤解するもの尠からざる如きも會計は素と

▽宮內大臣の 監督に屬するに拘らず遠隔せる朝鮮の事とて特に朝鮮總督に依囑せられ居り總督は常に嚴密なる監督權を行使しつゝあり豫算決算は勿論會計上の重要事項は總て總督の認可を受くる事となり居るを以て此點大なる間違なしと信じ居れり如上李子爵家土地賣却事件等に關しては總督府として充分の精査を遂げ如上の事實を明にするを得たり尤も目下整理進行の途上に在り事件の展開如何により本辯明に錯誤を生ずる事なきを保せざるも今日迄明かとなりたる內容は上述の如くなるを以て之を諒せられむことを望む


◆一年祭の日の李埈公墓所 =孔德里=

◆狂犬病の時期が來た(下)
●何うすれば豫防することが出來るか●

安全な豫防注射
狂犬病を豫防するに最も効果のある方法は注射を行ふ事である、此豫防注射は犬の身體に毫しも害がないのみならず絕對に狂犬病の傳染する事がないから愛犬には是非之を實行しておくが好い、豫防注射は一頭に對して

回都合三回 行ふのであるが毎日一回又は都合に依つて二三日毎に一回宛注射しても可い、以上は健康な犬に對して行ふ場合であるが、旣に狂犬病の傳染を受けた後と雖も即時此豫防注射を行へば其犬の

回半數以上 は發病を豫防する事が出來る、此場合の注射は都合六回で毎日一回注射するのである、注射の場所は脊又は頸であるが何等の疼痛もなければ腫れるやうな事もない、のみならず姙娠中或は

回分娩後の 親犬に注射しても決して害はない、注射後は適當に運動させることが必要であるが餘り過激に過ぎると害がある食餌は何を與へても差支へないが狂犬病の傳染を受けた後注射した犬は或る期間中(三ヶ月以上)

回特に注意 して監視せねばならぬ、豫防注射の効力は注射後少くも一年間は持續する、故に畜犬に對して毎年此豫防注射を行へば、其犬は絕對に狂犬病に感染する憂ひなく實に安全である(獸醫矢野龍平氏談)

●後藤男邸へ侍從御差遣 祭粢料を賜はる
後藤內務大臣夫人かず子逝去に就き聖上皇后兩陛下より特別の思召を以て十日祭粢料金一封を下賜され同日午前十時侍從日根野要吉郎氏を差遣はされ喪中御尋ねとして御料理並びに御菓子一折を下賜相成りたり(東京特電)

●伏見宮御本邸の大園遊會
伏見宮貞愛親王殿下には十日午後二時東京駐剳各國大公使、元帥國務大臣、其他文武大官貴紳實業家等八百餘名を紀尾井町御本邸に召され大園遊會を催させらる(東京特電)

●海軍兵善行を表彰さる
海軍三等機關兵曹中田滿次郎、一等機關兵森田喜一の兩氏は第七十三號水雷艇に乘組み敎練運轉中機關に破損を生じ高熱の蒸汽を全身に浴びたるにも拘はらず敢然上長の命を奉じ數個所の火傷を負ふにも屈せず其職務を遂行せる廉に依り中田兵曹は善行章三線森田機關兵は善行章一線に昇級さる(東京特電)

●九州沖繩聯合共進會開會式
九州沖繩聯合共進會開會式は十日午前十時より同會場內の演舞場に於いて開會されたり同時刻煙花三發の合圖を以て來賓三百名參列の後常務委員長出品目錄を會長に提出し會長小林作五郎氏の祝辭、總裁谷口福岡縣知事の告辭、來賓新妻大分縣知事各縣を代表し及び井手福岡市長、神崎縣會議長出品人總代石畑忠次郎氏の祝辭ありて閉式し會長の先導にて來賓一同會場を巡觀したるが參列者約九百名にして盛會なりし出品點數約五萬五千點に達したり(福岡特電)

●お斷り
京城情死史は回を重ぬる事二十回に及びたるも尙未だ五分の一にも滿たず愈々佳境に入らんとする矢先筆者病を得たるを以て當分休載し追つて時機を見て連載する事とせり(記者)

●將校團の滿鮮戰跡旅行
東京衞戍部隊臨時將校團にては豫後備將校を以て滿鮮視察團を組織し戰跡巡回旅行を爲すべく一行二十七名は十七日午後七時半東京驛出發先づ船にて神戶より大連に直航し三週間を經て京城釜山を觀察歸京の豫定なりと(東京特電)

●國技館起工式
兩國國技館再建地鎭祭並びに起工式は十日朝擧行されたり(東京特電)

●宣敎師の夫人誘惑さる
亞米利加宣敎師ディクソン夫人及びカザリン夫人は山東省と江西省の省界にて賊に誘惑され身代金を提供する迄放還を拒まれつゝあり詳細は尙不明なり(北京特電)

●兼二浦騷擾犯人檢擧
六十七名拘引
警察は十日朝來犯人の檢擧に著手し旣に鮮人六十七名拘引せらる(兼二浦特電=十日午後三時五分發)

●惡戲事は屢々あつた
十日朝の降雪
ソロ〳〵櫻も咲かうと云ふ十日の朝北漢山の嶺に雪が降つた事は夕刊所報の通りであるが之に就て京城測候所員は語つて曰く『毎年四五月は之迄大陸方面を占めて居た高氣壓が移動して北太平洋方面に擴がると云ふ氣壓の變遷期である、之が爲め山東省、揚子江流域、朝鮮中部から襲うて來た低氣壓が北日本海、沿海州方面の高氣壓の爲め

▽其進行を 阻まれるやうな事が屢々ある、此一兩日來陰鬱な空模樣を呈しジク〳〵するやうな寒冷を覺ゆるのは斯うした氣壓配置の關係である、十日午前六時京城の最低氣溫は攝氏の二度五を示したが京城が之であるから北漢山、南漢山あたりの絕頂は零度以下に降つたに違ひない、ソレで

▽市中では 少しヤ〳〵降る位の雨も北漢山では雪になつたのである、然し惡戲事は從來も屢々あつた事で特に稀らしいと云ふ程の現象でもない、尙天候は十一日午後あたりから回復して再び暖かな春空を見せるやうな兆が現はれて來た』

●滿鐵陸上競技大會
滿鐵會社にては毎年の恒例たる春季陸上競技大會を來る五月五日開催することに決定せり

●彌生會の春季大會
[illegible]にては十一、十二兩日夜六時より[illegible]館に於て春季淨瑠璃大會を催す由語り物次の如し
▲十一日 御祝儀寶の入船(南北 三勝半七酒屋(八重子)[illegible]
▲十二日 [illegible]

◆給仕募集
內地人少年にして小學校卒業者を採用す希望者は履歷書携帶本人來談ありたし(制服及び靴を給與す)
京城日報社編輯局

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼是迷ふ無く
最も能効く良藥神効湯を試よ現に百方手を盡しても効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病を始め固疾の疝氣リウマチス神經痛の方々が神効湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀(現在保存一般の閱覽に供す)を送らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば無論この神効湯は家力の良藥にして今や全國各藥店にあり

本劑は せんきリウマチス神經痛 子宮血の道ヒステリー及 慢性胃腸に 能く効を奏す

●こんな徵候
[illegible]
ウマチス神經痛及[illegible]
宮病血の道ヒステリー[illegible]
神効湯を試みよ

價 藥
[illegible]

本舖 名古屋市東區京町一丁目 藥種問屋 荒川長太郎
電話 東京二二四三 大阪一三九五 振替口座

胃腸新藥
タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり
外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各國に之を供給せり
タカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其効力を確認せられたるものなり
醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が効用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿むの要なからしむる者なるに在り
本劑の聲價益々として世に高きを羨み模出せる類似粗造品あれども其品質其効力素より同一視する價値あるものにあらず、醫學者實驗報告集無代郵呈す
東京室町 三共株式會社

宮崎式 滿洲瓦
安價 經濟
一 屋根材料トシテ凡テノ點ニ於テ他品ニ優越ス
一 耐寒耐暑ハ勿論絕體ニ雨漏リノ憂ナシ
一 第一家屋ニ雅致ヲ添ヘ外觀極メテ美ナリ
一 重量輕キガ故ニ木材ヲ節約シ得ルナリ
一 雨漏ナキガ故ニ工場倉庫等ニハ最モ要ス
一 坪當ニ於テ日本瓦ノ如ク別ニ棟坪ヲ計算セス
一 吸水量少年々硬化シ三年後ハ殆ド鐵板ト同シ
一 凡テノ點ニ於テ缺陷ナキ屋根材料ナリ
葺上價格壹坪ニ付五圓八拾錢(龍山)六圓拾錢(京城)
龍山漢江通り 宮崎製瓦所分工場 電話六一八番

桐苗、桐根苗、ニセアカシヤ苗
牡丹、芍藥、草花種子苗、庭木各種
山林苗、果樹苗、其他盆栽植物一切各種共大安販賣
仁川杻峴 北垣華王園

ツバメ歯磨
永久に家庭の愛用品たるツバメ歯磨
常用せらるゝ三大理由
■化學的に歯を強く美白ならしむ。
■純良無比の高價原料を使用す。
■芳香消劑防腐殺菌力强大なり。
大阪 東京 丹平商會發賣

京鄉貿易商界の大福音
朝鮮式諸般靴下織造
日鮮貴婦人用鬢髮油各種製造
洋襪各種 煉香油及 鬢髮油 卸商
京城西大門外橋南洞十一番地
三友商會

●小池司令官動靜 小池憲兵司令官は十日夜來長の豫定也(長春特電)

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百九十八回　英雄の涙（五）

道齋は死を覺悟して居る、匹夫でも、茶坊主でも、死を覺悟した心の沈着きは、大丈夫と異る處がない

『御館はお忘れでござりましたか喃、まだ淸洲の御城に在しました時、道齋不義の戀をして、今にもお手討に爲らうとした時でござりましたを……』

『確とは覺ね何時であつた？』

『關ケ原の御陣、今にも始まらうといふ時でござりました、初瀨殿に不義の戀して、濟之丞殿を深い淵へ突き落さうと致した、その事露顯、今にも御成敗を受けますところ、此の首その時御佩刀の錆となりますところ、圖りなくもお助け下されたは、濟之丞殿でござりました、道齋は濟之丞殿に白刃を當てようと致したを、濟之丞殿却つて御助けを下された、道齋の命が今日まで繫がれ居りまするは、全く濟之丞殿の御蔭でござりまする』

『おゝ、左樣なこともあつた』と正則は遠い昨日を思ひ出した

『その濟之丞殿、重い罪科あつて御檻へ入れられたまふ、御當家の御掟は、斯くして罪人を干殺しになされたまふこと、道齋も原より承知なれど大恩ある濟之丞殿が見す〳〵餓鬼道の苦みを受けて、日は一日、夜は一夜と、瘦せ衰へ行きたまふを餘所に見ることが爲きませうか、恩を知らねば犬に劣る、況してこれは命の大恩、假しいかやうの御咎めを受けるとも、御助け申さでは、人と生れた甲斐が無いと存じ、御法を犯して潜び參り、夜々、志の握り飯を參らせたに相違ござりませぬ、芳野どの及びその兄の利右衛門どの、無實の罪に落ちられたを知りながら、齒を噛んで堪へ忍び、一入報恩を盡したは一日でも半日でも、濟之丞殿を長命させるが、道齋の盡す只一つの道と思ひ付いたからでござります、今は申す事もない、濟之丞殿にも御暇乞ひをして參つた、いかやうとも御存分になさせられませ』

少しの亂れもなく云ひ終る、それを聞いた正則の目は明星の如くに光つた

『報恩の爲め――報恩の爲め命を捨て、濟之丞に食事を運んだ、おぬしは我等の家來であつて、身分こそ卑しけれど、その心は極めて高い、正則の家來であつた』

『申し上げることは申し上げた、世に思ひ殘す事もない、罪科はこればかりぢやとござりませぬ、濟之丞殿の御母も、道齋の家へ引き取り、お世話を申上げ居りまする』

『おゝ、能くぞ致した、道齋は身を捨てゝ、恩に報いした、健な者ぢや』

正則の瞬眼からは、大粒な涙が落ちた

□湖南吟社例會（大正七、四、六於某所）

課題　松の綠、囀、摘み草、梨花、蠅生る

囀りや籠に馴れたる三年鳥　霓堂
摘草や市井の噂あともなし　同
囀りや夢とうつゝの間より　錦山
摘草や兒を寢せて乳母車　同
輕裝して牛車に侍すや梨の花　同
美田買うて牛買ふ繩も生ぬ蕗　同
松綠月に舞子の汐明り　靜兒
松綠鳥啼く空の明るさよ　同
囀りや杜より出づる沼渡舟　同
囀りや天德院の朝勤行　同
夜の雨梨花の奥なる磯の音　同
門に繫ぐ白馬嘶く梨花月夜　同
廢れ行く驛の馬車宿蠅生る　同
驢馬擔ぎこ獸病院や春の蠅　同
向岸の囀りに立てど橋はなし　紅星
石門の盆鉢の木や綠立つ　風骨
水貰ひに行く丘の家や草摘む子　同
廟地選みに抗うつ山や囀す　同
上瀨早やみを下す筏や囀す　同
草履占の夕虹かゝす梨花の雨　同
眉剃ゝ餓くも湯氣や梨花の窓　同
寺厨の隱くし酒壺や蠅生る　同
桶谷めに腐ふ味噌や蠅生る　同

◇梅當を活けて　忠南扶餘山城吟社

風船玉に吊られ戻る彼岸哉
凍掃ける畑耘さかす驛舍土
虻なくや踏鐵輕く古都を趁ふ
蛙群る餓を急ぐ飛脚哉
厩出せば草の芽も踏む小馬哉
地試の新につきし夜頃哉
掘上げし鬼面照すも新館
日南右に蟲出匂ひ交ふ彼岸哉
中日や山に迫りて屋わかさ
空に射し乘矢街ちたる耕土哉
畑中畝耕し終へて風輕し
夕暗微を去らす耕人に凪愛ろ
風落ちて薤萩の灰に蛇を見し
時耽して山猪悉し厩出し
鉄座近く彼岸の佛具磨きけり
耕して山顚悉く歸りけり
耕しの土黑々さ歿りけり
虻鳴くや畑細ふ牛の片眠る
厩出せば草鞋傷きて踏りけり
新能細々と踊る纓哉
新トツト縫ねて終りの地噺哉
彼岸會や荻落れて霜む人
耕すや浦迎つて舟近し
杉皮に虻の來てなく澳れ日哉
厩出しか哭の溢土を踏みならす
新能果て、見上る寺門哉
耕しの父に迎れる蕃餉哉
下駄直す我に虻近く通りけり
虻飛びて日華に過ぎる厩哉
泉裡に吊る鶺鴒明るき新館
耕しや河迦み帆船見て
厩出しの馬むれ飲める小流哉
厩出せは息せき走る小馬哉
時に浮きて動かさる瞬や新館
彼岸會の門の灯しや公州寺
耕すや鉄力ある土の色
厩出しか跡ある馬や薪草
厩出でし馬は速飼萎毛哉

讀者の領分

▲李王職動植物園のある一角は先年『昌慶苑』と名稱附けられて以來近頃は一般にこの稱呼が用ゐられる樣だが本町邊の電車には相變らず從前の通り『御苑行』とあるアレでは田舍者などは一寸迷ふテ（都人士）▲有樂館で當年會主催のクリスマス、カロルを見に來た者が有つた、又大正館には文藝寫眞人形の家が來つて居る、黃金館には有名な『國華』『フヰリツパ』の二大活劇が有る、『アンターク』及び『日の出前』『アルヒノ』等の史劇及び文藝寫眞がある、各館共希はくば此の樣な大寫眞を上場して貰ひ度い（人情活征）▲七日夜旭町の日出番に行つたら有數の上に點の辯士が夢中に辯をかいてゐた可哀さうと思つて起してやれば『ウヽヨシ〳〵』など……公辯見てるのが嫌だつた（アルカス石藤）▲壽座の義士劇家一座の芝劇は毎晩大入滿員の盛況一座の人氣は子役芳子に負ふ所があると聞いて居たが實際に行つて見ると何も稚平した技巧を見せるので觀客はやんやんと言ふ騷ぎ彩派の喜劇は餘り感心しないが山藤尾派の舊劇頭のよかゆるめと言ふ作放延しには持つて來いの劇物だ（疎風）

皮黴科　外科　專門
扇田醫院
京城太平通二丁目　電話二三五八番

平木背水畫伯筆
金剛山繪葉書（一組六枚）定價三十六錢　郵稅二錢
寫眞物相の朝、秋、赤壁江の朝、元山港の朝、海金剛の淵、龍淵の、溫井里の夕を實地に描寫したるものにして其の筆致の優と印刷の最良とは歐米の夫れに比し決して遜色なき鮮麗なる又得難き良品なり。
京城太平通一丁目　京城日報社代理部　電話（構内）十八番　振替京城三〇〇

石井博士上醸
慢性りん病
組織の誘導しる劇烈な殺菌力を有し尿道の粘膜、深層に潜伏せる病菌に對し浸潤及び淋線作用を有し慢性殊に尿道炎等の服藥と共に奏効迅速他の類似藥の及ばざる持長を有す　急性用壹圓五十錢　慢性用參圓　◎効力を疑ふ人は見本を送呈す
大阪市南區櫻川四丁目　振替大阪參壹武四九番
藥劑師　淺田藥局

質　大塚質店
京城明治町二丁目元曙町　電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防禦に遺憾なき完全倉庫あり
◎多額の融通　出來得る限り御便宜を圖る

最新刊

書名	著者	價
佛像の研究	小野玄妙	二〇〇
支那古代史	西山榮久	二五〇
生命の文學	松浦一	一六〇
國民的國家總動員	佐藤鋼次郎	一四〇
日本の獨露の襲來	原田中尉	一三〇
祝賀弔祭式辭答辭挨拶	大日本雄辯研究會	一二〇
刀劍鑑定備考	羽皐隱士	八五
獨眼の見たる太平洋問題	阿部進治	一八〇
生か死か	江部鴨村	一六〇
白樺の森	白樺同人	一五〇

英語の學び方　小松本大賞本　最善適用の秘訣　神田乃武外廿五博士著定價九十五錢　吉原富三郎　八五
發音自在最新和英辭典　後藤英村　一三五
英文和譯法　南日恒太郎　八五
和文英譯研究　山崎貞　八五
代數解譯法　吉本　八五
化學解義　山下安太郎　六五

大阪屋號
京城本町壹六八四、二〇八六　振京城二五七三

骨つぎ（うちみくじき）治療
明治町ふらんす教會前
荒川仁壽堂　電二五九五

京城龍山等各地に僞物有御注意

りん病ばい毒　患者諸君
▽にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地に悪ドラッグあり僞着せられざる樣御用心京城にてもドラッグ商會と稱する者あらばそは全く
詐欺漢なり　商號を盗用する
詳細は昨日の本紙に御一覽あれ
京城南大門外停車場通
花柳病專門藥　ドラッグ商會
京城黃金町三丁目　滿鮮總本部

花見化粧　その二

お出かけに手輕で美くしい

附のよいレート粉おしろい

◎御參考に……

申上げて置きますが、近來粉おしろいが大層使はれるやうになりました。これはレートの粉刷き化粧が新東京式として貴婦人方の御使用御推奬あるからでムいます。

◎手輕て美くしい粉刷き化粧の仕方

お出かけの多い此節、ソレといふ暇に、手取早く、美くしいお化粧の出來るのは粉刷き化粧に限ります。然しそれも有觸れの白粉や安白粉では、斑になつたり、直剝げたりして却つて、『お化粧がお顔汚し』になる滑稽が出來致しますが新東京式として推奬され、今や全國の新お化粧法の一つとなつて居る、レート粉白粉の粉刷き化粧ばかりは、所謂『極めつき』の自慢ものでムいます。

▽さて其仕方は

先づ第一に、手輕で美顔術の出來るクレームレート（他のクリームの如に動物性脂肪分を含まぬ故臭な臭氣なく皮膚を滑らかにし完全に日燒こ荒れを止める）を下地に引いて、一たんこれを綿手拭で拭き取り、其上へレート粉おしろいを、粉刷毛で、お顔の先を濃いめにして、お刷きになれば直ぐ美事な淡化粧が出來上ります。

▽尚少し濃目に

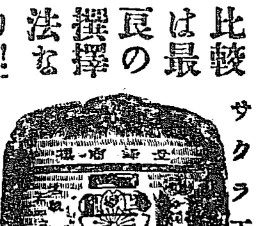
しやうと思へば、レート水白粉を附けてから、粉刷して下さらば、一層引き立つのでムいます。そして、外出の節にレート紙おしろいを持つて、時たま、お化粧直しをなして下さるならば、實に完全無缺で、花時の陽氣に浮く脂肪を止めて、決してお化粧崩れが致しません。そして白さが上品で氣高く美くしい事は、露を含むだ櫻花にも優るとも劣りません。

レート化粧料本舖　東京　平尾贊平

京城電氣株式會社製
◎コークス　一手販賣
京城旭町一丁目（電話二三三五番）石炭薪炭商　横山商店
京城旭町一丁目（電話九八四番）戸澤屋
地方御注文の節は迅速御送附申上候

人事百般周旋業　萬年社
京城府明治町貳丁目　電話長一八四四番

痔疾專門　入院隨意
（いぼぢ、だつこう、はしりぢ、さけぢ、かゆぢ、ろうもん）
京城　久枝肛門病院
京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二二〇二番）

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話四八一、四五四、九四番　振替京城五七番

橋本齒科醫院
京城南山町三丁目（電氣會社横路入る）電話二九二〇番
日本齒科醫學士　橋本清次郎

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス
定價（内用）△七日分、金五十錢、△十四日分、金壹圓、△三十日分、金貳圓、△四十七日分、金參圓、△八十五日分、金五圓、△百八十五日分、金拾圓

陸軍御用　元祖

朝鮮高麗人蔘（白蔘紅蔘）直取引貿易商
京城本町一丁目　津村兄弟商會本店
人蔘エキス本舖　電話一四八〇番・振替京城三五二一番・取引百三十銀行
京城本町一丁目　電話一八七〇番　津村兄弟商會支店
朝鮮大邱本町　電話三九番　津村商會大邱支店

大特約店
京城本町二丁目　山岸天佑堂
京城本町二丁目　北島藥舖
京城本町四丁目　木村藥舖
其他朝鮮全道四百十ヶ所
日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ヶ所に特約販賣致させ居候間御用命の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候

品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話長五八番　貯金京城一一九番　振替京城四三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

山縣五十雄　村上唯吉　共著
冨の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城日本通　日報社代理部

金泉間自動車著發時刻
織居自動車部金泉支部　金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　月　日後五時出　立神丸　月　日後五時出
○元山、淸津、浦鹽行　和歌浦丸　月　日後五時出　立神丸　月　日後十時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天狼丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三泰平丸　四月二十日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三泰平丸　四月十一日後六時出
釜山港立新町　本間取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
神代丸　四月十日後四時出
秀吉丸　四月十六日後四時出
君代丸　四月十九日後四時出
大有丸　四月　日後四時出
仁川港　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
芝罘、大連行　共同丸　四月十二日午後入港　十三日午後時出帆
仁川代理店　蚫口商會　電話一七三番
京城代理店　河村運送店

日本郵船仁川出帆
大連行、天津行
相模丸　四月二十日
三河丸　四月十日
砂丸　四月三十日　正午出
仁川港　郵船回漕部
京城代理店　河村運送店

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸大阪行　須磨丸　月　日後五時出　日清丸　月　日後五時出　南部丸　四月十六日後五時出
群山、木浦、釜山、鄕ノ浦、長崎行　安東丸　月　日正午出　南部丸　月　日後五時出
元山出帆
大連出帆
西鮮鎭南浦行　安寧丸　四月九日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　四月十五日後九時
上海、基隆、打狗行　湖北丸　四月十三日前六時出　基隆丸　四月十六日後四時出
内地各港出帆主要航路
南米行　年四回　孟買行　毎月二回　北米行　毎月一回　濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
御注意
大阪商船株式會社仁川支店
京城切符發賣所
仁川京城通り切符發賣所

大阪期米
▲十日後場　當限　二十七圓八二錢　中限　二十六圓六十錢　先限　二十
▲後場　當限　中限二十二圓十錢より八錢九錢　先二十七錢より八錢二錢當十七錢　先十九錢一値にて三四節十七八錢を採合ひ結局十七錢と打止めたり

仁川米豆取引所
十日の六月限　二十三圓二十七錢

大阪倒式同　十一日前場

同新株　大阪米株　東京株式　京島株式　一五〇.九〇　二七七.一〇